令和5年度

事業計画書

予 算 書

令和4年度

事業報告書

決 算 報 告 書

社会福祉法人 やすらぎ会

ぶなの園

岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2-135 ☎ 0197-85-2322

かたくりの園

岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野 1 7 − 1 4 0 − 1 ☎ 0 1 9 7 − 8 5 − 3 3 8 8

目 次

1 事業詞	十画・予算(令和5年度)	
第1章	社会福祉法人やすらぎ会	 1
第2章	総務課	 5
第3章	施設福祉課	 9
第4章	在宅福祉課	
	西和賀介護相談室	 1 4
	ホームヘルプステーションぶなの園	 1 6
	デイサービスセンターぶなの園	 1 9
第5章	高齢者生活福祉センター	
	デイサービスセンターかたくりの園	 2 3
	生活支援ハウス事業	 2 6
第6章	業務分掌等	
-	1 業務分掌	 2 7
6	2 業務機構図・諸会議の役割	 3 5
	3 各委員会の方針と計画	 3 7
4	4 職員キャリアパス体系	 4 1
予算書		 4 2
2 事業韓	報告・決算報告(令和 4 年度)	
第1章	法人本部の活動	 4 5
第2章	総務課	 5 5
第3章	施設福祉課	 6 5
第4章	在宅福祉課	
	西和賀介護相談室	 7 9
	ホームヘルプステーションぶなの園	 8 2
	デイサービスセンターぶなの園	 8 7
第5章	高齢者生活福祉センター	
	デイサービスセンターかたくりの園	 9 4
	生活支援ハウス事業	 100
第6章	各委員会	 101
決算報告	<u> </u>	 105

令和4年度

事業報告書

自 令和 4 年 4月 1日 至 令和 5 年 3月 31日

第1章 法人本部の活動

1 法人の概要

法 人 名 社会福祉法人やすらぎ会

代 表 者 理事長 佐々木一

所 在 地 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割135番地

認可年月日 平成9年11月4日

認 可 番 号 岩手県指令長606号

設立登記年月日 平成9年11月10日

2 法人の行う事業

(1) 社会福祉事業

	事業聯維月日	施設・事業種別	施設名·指定事業所名	顁
第一種 社会福祉事業	平成10年4月1日	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームぶなの園	50
	平成6年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターかたくりの園	30
公二 括	平成10年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターぶなの園	10
第二種	平成10年4月1日	老人短期入所事業	ショートステイジなの園	10
社会福祉事業	平成10年4月1日	老人居宅介護等事業	ホームヘッレプステーションぶなの園	
	平成18年4月1日	障害者福祉サービス事業	ホームヘッレプステーションぶなの園	

(2) 公益事業

	事業聯件月日	事業種別	事業所名・商号等	定員·規模
1\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	平成6年4月1日	高齢者生活福祉センター	高齢者生活福祉センタ	10名
	十分10十4月1日		一かたくりの園	7部屋
公益事業	平成12年4月1日	居宅介護支援事業	西哨介護閣室	
	平成18年2月1日	一般乗用旅客自動車運送事業	ぶなの園営業所	

3 法人経営の概況

(1) 総括事項

令和4年度は、看護師・介護職員等の人材不足から施設での短期入所受入制限を余儀なくされた。かたくりの園でも、土曜日のサービス提供を休止する事態となった。加えて特養での新型コロナクラスター発生と物価高騰の煽りを受け想定外の経費負担が重なり、12月の職員手当の減額を試みるも利用者の減による介護報酬の改善は遠く、これに経費負担が加わり前年度を超える経営赤字となった。

こうした中、24 時間テレビチャリティ委員会からの福祉車輛の寄贈や介護福祉士や社会福祉主事資格を取得する職員が出たことは法人にとって明るい材料となった。

収支においては、資金収支計算書からみると当期資金収支差額合計は、 \triangle 27,221 千円と前年対比 \triangle 15,968 千円と悪化。令和 2 年からの 3 年間における累積は \triangle 32,480 千円と赤字体質となっている。

事業活動の成果を示す事業活動計算書においても、サービス活動増減差額が△47,442 千円

となり、昨年の△26,891 千円を大きく超える状況にあり、経営の立て直しが急務となっている。

主な要因としては、サービス活動収益において職員体制が充足しない中で利用者の受入に限界があり介護報酬の減となったところで前年対比では 11,190 千円少ない 354,173 千円となっており、令和2年からは 18,800 千円ほどの落ち込みとなっている。

補助金については、新型コロナ対応や物価高騰等の助成により 5,588 千円ほど増えた状況 にあるが、各サービスを紐解けば、人材不足による特養短期入所の受入が改善されず通常受入で対応した令和 2 年度より 9,342 千円程の落ち込みで、コロナクラスター発生に伴うディブナでは、特養支援含め一ケ月にわたる休止等で 2,065 千円の減収となった。

加えて、かたくりの園では看護師の不足による介護報酬3割減算(10月と11月の二カ月で2,416千円の減収)と介護職員の配置が難しい中で土曜営業の休止(10月~3月半年間で3,300千円の減収)による減収を含めると法人全体で17,123千円の減収となっており経営への痛手となった。

一方、資金収支における事業活動費用全体においては、384,369 千円となり前年対比 10,503 千円の伸びとなっており、令和3年度と合わると 24,238 千円の経費の増となる。

人件費については、経営悪化の折、職員の12月手当を3,153千円支給率で0.4%を減額したことや年度途中での退職者が相次いだことで前年度より1,262千円減額となったところである。資金収支における職員の人件費比率は77.6%となった。

続いて新型コロナ対応や物価高騰の煽りを受けた事業費では、給食費 1,871 千円、医薬品費 450 千円、水道光熱費 2,603 千円、消耗器具備品 3,193 千円等の前年度対比で増額となり事業費全体で 7,602 千円の増となった

事務費にかかる研修研究費では、介護福祉士実務者研修費用等で 456 千円、修繕費では、特養の電子錠の改修工事やかたくりの園の真空ヒータや乾燥機等の機械設備の修繕等に 1,494 千円、通信運搬費では携帯電話等の使用料で 165 千円、委託費では画像認証サービス 利用に伴い 158 千円、手数料では応援看護師等の派遣費用等で 896 千円、公用車の車検にか かる保険料等で 225 千円、賃借料では除菌水生成装置やコピー機の更新により 400 千円の増、 雑支出等も 542 千円の増額となり事務費全体で 3,627 千円の増額となった。そのほか利用者 負担軽減においても、町からの補助金 1,560 千円はあるものの前年から 536 千円の増の 3,674 千円と低所得者への支援費が増えている

資産の取得となる施設整備においては、在宅のヘルパー車の更新に 1,490 千円、厨房の食器洗浄機の更新に 946 千円、特養の低床ベット 264 千円、ノートパソコンの増設に 422 千円、水フィルター掃除機 341 千円、紫外線ウィルス除菌装置 2 台で 418 千円等の整備に 3,882 千円を要した。

積立資産については、退職給付引当資産取崩で 3,122 千円、施設整備費積立資産、人材育成基金からの取崩し 11,374 千円、合わせて 14,496 千円の取崩しを要したところである。

以上の内容から、資金収支計算書での当期末未払い資金残高は93,196,508円となった。

事業活動計算書では、減価償却費や引当金繰入れ、国庫補助金等特別積立金の取崩しが含まれており、経常増減差額で△44,355 千円と前年度に引き続き 20,999 千円と赤字が嵩んだ状況で次期繰越活動増減差額は 132,597 千円となり前年から 29,366 千円減らした状況にある。

貸借対照表においては、24 時間 TV チャリティ委員会からの福祉車輛の寄贈(評価額

4,846,600 円) も含まれるところだが、前年から 62,619 千円の減額となりこれまで築いてきた資産を減らした状況となっている。

(2) 運営の状況

運営においては、長引くコロナ禍の中で11月に施設クラスターが発生してしまい、利用者は陽性にあっても施設での療養を強いられたところで、法人で策定していた業務継続計画書は紙切同然の結果となり、開設以来最大の危機に直面したところでした。

この間、協力病院や他施設、行政からの厚い支援を受けるも、利用者・職員双方の負担も大きく、サービスの低下は避けられない状況下で、利用者 5 名を亡くす悲しい結果となるなど収束を迎えるまで 42 日を費やしたところである。

こうした状況に人材不足が加わり利用者確保にも影響し、法人経営は大きな打撃を受けたところである。

以下、令和4年度に掲げた事業推進目標を振り返る。

① 利用者に寄り添う

ア 利用者支援にかかる LIFE の導入加算の取得は 10 月までずれ込んでしまい、蓄積されたデータも少ないことから施設での利用は来年度以降となってくる。

イ 介護の質を上げるための取り組みとして、介護福祉士資格取得者3名、社会福祉主事 任用資格者1名などコロナ禍の中にあって一定の成果があったところで、介護技術や知 識の点からしても法人全体の介護力の向上につながった。

② 快適な環境づくり

ア 衛生管理者養成は、コロナ感染対応等により受験準備が出来なかったことから次年度 の対応としたい。職員の健康診断においては、特定保健指導に参加する職員の取り組み も見られた、コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種は利用者含め実施された。 衛生委員会として産業医の指導の下引き続き職員の健康管理に取り組むことが必要。

- イ 研修用 PC を整備し Web 研修という新たな研修スタイルに研修会場までの移動等において職員の負担も軽減された。
- ウ 施設の長寿命化については、特養の電子錠の撤去や食器洗浄機の更新、ヘルパー車の 更新、低床ベットの整備に加え、かたくりの園では真空ヒーターや乾燥機、冷蔵庫等の 修繕に取組んだ。今年は念願であった 24 時間 TV チャリティ委員会からの福祉車輛の寄 贈もあったところで、善意の寄付に感謝し大事に使っていきたい。

建物においてはブナの園屋上の防水シートの劣化がすすんでおり雨漏りや凍結防止に おいて対応が急務となっている。

③ 互いに支え合う

ア 法人内の連携と職員の連帯意識の強化については、十分とは言えないが毎月の経営会議、リーダー会議、職員会議、各種委員会等を通じ、振り返りにより随時課題解決に向けた取り組みを進めることが出来ている。特にも、新型コロナクラスターの発生においては、少ない職員体制のなか町立西和賀さわうち病院との Web 会議の開催により、スムーズな検査や治療体制が取れたことは職員だけでなく利用者にとっても心強かった。コロナ療養にかかる入居者のサービス提供においては、在宅職員の支援も含め職員一丸となって取り組みクラスター収束を迎えることが出来た。

④ 地域と共に

ア 地域との連携については、町内福祉施設による小中高校生への「介護の魅力発見出前

講座」は継続できた。また認知症キャラバンメイトとして町の事業にも参加してきた。

- イ 町の地域支援事業への参画については、コロナ対応含め人的体制が整わず実現できなかった。町が策定する令和6年からの第9期介護保険事業計画に合わせて取り組みを進めたい。
- ウ コロナ禍の中で、夏祭りや健康を祝う集い、文化祭等施設外との接触を伴う事業は今 年度も自粛し、規模を縮小した形で、ぶなの園とかたくりの園で取り組むことが出来た。

⑤ 明日をつくる

ア 人事評価制度については、改めて評価基準等の確認を要することから実施は次年度以 降となる。

処遇については、育児・介護休業等の法改正に合わせ就業規則にかかる育児・介護休業に関する規程を整備した。

コロナ対応にかかる特殊勤務手当の新設含め職員の給料規程等の改正にも取り組み改善に務めた。

イ 経営については、新型コロナクラスター発生や介護人材が不足する厳しい状況が続く も、理事会、定時監査において助言をいただきながら対応することができた。

令和 2 年度からの外国人技能実習生の受入に加え、来年度は特定技能としてインドネシアから 2 名、ミヤンマーから 3 名の受入を決めており、宿舎の準備等 6 月末の受入に向け取り組みを進めている。なおモンゴルからの技能実習生は日本語能力試験 N3 も合格しており、5 月の専門級試験を待つところで令和 5 年 11 月には 3 年間の実習期間が終了する。

4 資産(土地・建物)等の状況

		地目、構造及び	面	積	
区分	所在地	用途	定款	登記簿㎡	
	711.2E		m²		
基本財産					
(1)土地					
(2)建物	和賀郡西和賀町沢内	鉄筋コンクリー		3, 298. 99	平成9年10月14
	字太田2地割135番地、	ト造陸屋根平家			日
	23番地、49番地2、109	建			
	番地5、112番地5、113			1 階	
	番地4、130番地、131番	鉄骨造亜鉛メッ		194.40	平成10年12月17
	地、132番地、133番地、	キ剛板葺き2階		2階	日
	134番地、136番地、142	建		48.60	
	番地、143番地、180番				
	地、181番地、184番地、				
	186番地、189番地、190				
	番地				
	和賀郡西和賀町沢内			821. 48	
	字大野17地割140番地				平成6年3月14日
	1	鉄筋コンクリー			

		ト造陸屋根平家		
		建		
借地等				
(1)土地	和賀郡西和賀町沢内字太田2地割23番、31番3、33番1、49番2、54番4、55番3、55番4、108番5、109番5、110番19、112番5、113番4、120番2、121番1、122番3、122番8、124番、128番、129番1、129番2、130番、131番、132番、133番、134番、135番、136番、137番、142番、143番	宅地、雑種地、畑 老人福祉施設の 敷地として使用		契約書 有相手方 西和賀町 借地料 無料
	和賀郡西和賀町沢内 字大野17地割 140番1	山林 老人福祉施設の 敷地として使用		契約書 有 相手方 西和賀 町 借地料 無料
	和賀郡西和賀町沢内 字猿橋33地割1-1	原野、職員宿舎の敷地として使用	331.00	令和2年11月17 日
	和賀郡西和賀町沢内 字猿橋33地割2-1	宅地 職員宿舎 の敷地として使 用	467. 31	令和2年11月17 日
(2)建物	和賀郡西和賀町沢内		159. 76	
	字猿橋33地割2-1	木造亜鉛メッキ		
		銅板葺2階建		令和2年11月17
				目

5 役員等の状況

役職名	氏 名	職業	理事要件	各理事と親 族等特殊関 係にある者 の有無	現任期
理事長	佐々木一	施設長	施設の管理者	無	
理 事	真壁信男	無職	社会福祉事業の経営に	無	令和3年6月

				関する識見を有する者		18 日~令和4
≭ ⊞	事	近藤英三	会社役員	社会福祉事業の経営に	無	年度会計に関
理	尹	<u> </u>	云红仅貝	関する識見を有する者	////	する定時評議
理	事	佐々木正	细斑	社会福祉事業の経営に	無	員会の終結の
生	尹	裕	無職	関する識見を有する者	////	時まで
理	事	平川縫子	無職	社会福祉事業の経営に	無	
生	尹	十川種丁	無棋	関する識見を有する者	////	
理	事	髙橋康文	無職	社会福祉事業の経営に	無	
生	尹	向惝录义	無棋	関する識見を有する者	////	
少主	断事	1、111臣又	4m. n/s	社会福祉事業の経営に	無	
八衣	監事	小川賢一	無職	関する識見を有する者	/////	
監	事	髙橋義雄	無職	社会福祉事業の経営に	無	
iii.	尹	向倘我低	無棋	関する識見を有する者	/////	
压	+	立 (大)	Arr uth	社会福祉事業の経営に	/mr	
監	事	髙橋健司	無職	関する識見を有する者	無	

6 理事会の開催状況

開催年月日	出席者 数 <i>/</i> 総数	議題	監事出席 の有無
令和4年 4月13日	6/5	防災盤(自動火災報知機・非常用放送設備)更新工事 契約の締結について	小川賢一 髙橋義雄 髙橋健司
令和4年	5/6	令和3年度社会福祉法人やすらぎ会事業報告の承認を	小川賢一
6月3日		求めることについて	髙橋義雄
		令和3年度社会福祉法人やすらぎ会収入支出決算の承	髙橋健司
		認を求めることについて	
		令和4年度社会福祉法人やすらぎ会定時評議委員会開	
		催日程について	
令和4年	5/6	社会福祉法人やすらぎ会第1次補正予算について	小川賢一
8月9日		介護福祉士修学資金等貸付制度にかかる法人による連	髙橋義雄
		帯保証人の手続きについて	髙橋健司
令和4年	6/6	社会福祉法人やすらぎ会第2次補正予算について	小川賢一
10月28日		財産取得について (ヘルパー車)	髙橋義雄
		特別養護老人ホームぶなの園居室及び廊下のサッシ修	髙橋健司
		理工事について	
		社会福祉法人やすらぎ会給与規程の一部改正について	
令和4年	5/6	社会福祉法人やすらぎ会第3次補正予算について	小川賢一
12月26		育児・介護休業等に関する規程について	髙橋義雄
日		社会福祉法人やすらぎ会就業規則の一部改正について	髙橋健司
		社会福祉法人やすらぎ会育児休業規程の廃止について	
		社会福祉法人やすらぎ会介護休業規程の廃止について	

		特別養護老人ホームぶなの園居室及び廊下のサッシ修	
		理工事の工期の変更について	
令和5年	5/6	社会福祉法人やすらぎ会給与規程の一部改正について	小川賢一
3 月 27		社会福祉法人やすらぎ会第4次補正予算について	髙橋義雄
日		令和5年度社会福祉法人やすらぎ会事業計画の認定に	
		ついて	
		令和4年度社会福祉法人やすらぎ会予算の認定につい	
		て	

7 評議員の状況

氏 名	職 業 会社名	他の社会福祉法 人との兼務状況	現任期
坂巻潤子	障がい者施設役員	有	
深澤久子	無職	無	
岩井貞一	無職	無	 令和 3 年 5 月 13 日~令和 6 年度会計に
和泉昭	無職	無	万和3年3月13日~7和6年度云訂に 関する定時評議員会の終結の時まで
野中孝勇	無職	有	関りる足時計議員云の終稿の時まで
石井弘光	森林組合組合長	無	
刈田哲彦	西和賀町特別職	無	

8 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者 数 /総数	議題	監事出席 の有無
令和4年	6/7	社会福祉法人やすらぎ会令和3年度事業報告の承認に	小川賢一
6月20日		ついて	
		社会福祉法人やすらぎ会令和3年度決算報告の承認に	
		ついて	

9 監事監査の実施状況

監査年月 日・時間	監査実施 者名	監査結果の内容 及び指示・指摘事項	改善事項
令和4年	小川賢一	サービス活動収益にかかる減収	当初、人事異動による体制の不安に
5月30日	髙橋義雄	について	より受け入れ制限やコロナ拡大によ
9:30~	髙橋健司		る入院など短期入所の利用者減、デ
12:00			イ利用者の減が減収の大きな要因と
			なっている。一方で増収になってい
			る事業所もあり、減収分を幾分カバ
			ーする形になっている。

人件費率について今後の見通し 当初予算において高い数字を見る はどうか でいる。前年分の減収を改善	見込ん
" " " " " " " " " " " " " " " " " " "	
ば多少改善される見込みでいる	るが、
退職を申し出る者があり、人材	材確保
が急務となっている。職員給-	与につ
いては、処遇改善に係る上昇や	や最低
賃金の上昇が見込まれており、	、手当
の見直し等、他法人の動向を	参考に
し、職員給料の在り方と合わっ	せてバ
ランスが取れるように検討し	して行
<	
その他のサービス活動費用の増事業費では、水道光熱費や燃料	料費に
について おいて価格高騰に伴うものや:	コロナ
対策に係る掛り増しがある。	事務費
では老朽化に伴う修繕費や除	雪委託
料の増など、例年以上の増とな	さった。
また、備品等の新規整備に伴	う減価
	 育成基
	のため
の費用助成を進める。多職種は	の資格
所有者の確保や養成が重要。	
での求人を展開し、必要資格	
の確保が急務になっている。	
資金収支決算書での決算処理に 決算前に予算超過が散見し既活	决予算
おいて勘定科目の大科目に及ぶ の範囲内で専決により調整した	たとこ
流用と予備費の充当が見られる ろ。次の理事会に報告する。 ⁻	予算管
が理事会の承認までどう進める 埋については、既に伺い方式に	に変更
のか。	算に対
するシステム管理が可能となる	ること
から、資金不足の事前対応が	可能と
なると考えている。	
令和4年 小川賢一 介護サービスついて 短期入所の利用者増に伴い、1	収入増
7月29日 髙橋義雄 となってきているが、通所利り	用者減
9:30~ 髙橋健司 に伴う減収となっており、人	員体制
12:00 含め経営の健全化を確保できる	るよう
に検討が必要。	
最低賃金の引上げを受けて、法	
人の収支バランスをみながら給	
与規程等の再チックが求められ	
る。その場合、収支資金計画の	

		 再検討が必要と思われる。	
		ぶなのマイクロバスが老朽化に	
		伴い、事故発生のリスク等を考	
		慮し廃車等の適正な管理が必要 	
		国は行動制限をしないが、施設	
		では職員から利用者への感染リ	
		スクが高いことから行動制限は	
		必要と思われる。基本的な感染	
		対策を継続いただきたい。	
		看護師において、9月以降の退	
		職予定者がいるとのことで補充	
		が急務となる。	
令和4年	小川賢一	防災盤等の修繕費等が予定され	
10月27	髙橋義雄	ているので収入の安定確保が重	
10:00~	髙橋健司	要	
12:00		施設基準の届出について	ベースアップ加算、科学的介護推進
			体制加算、人員欠如減算届について
			は、遅滞なく届出は完了している
		人材不足の中、中堅職員の離職	
		が続いている。臨時、パート職	
		員で補っているようだが、人員	
		基準等に照らしながら離職防止	
		にも取組むことが必要	
		人件費適正比率が伸び調整が必	県が最低賃金示したことを受け、10
		要と思われる。経費とのバラン	/20に改定予定。
		スを意識し、職員にも十分理解	
		されるよう対応願いたい。	
		職員には緊張感を持ち感染対策	
		を行い行動に責任を持ち、施設	
		に持ち込まないよう意識して欲	
		LV.	
		2 4 時間テレビチャリティ委員	
		会からの寄贈車輛について、事	
		故を起こさないよう大事に使っ	
		てほしい。	
		 マイクロバス廃車に伴う売却処	
		分について、当期末における資	
		産台帳の整理も適正におこなう	
			1
l I		こと。	

1月30	髙橋義雄	かたくりの園看護師不足から減	看護師1名が補充されたところで基
10:00~	髙橋健司	収との報告が有ったことについ	準を満たす届出を行っている。
12:00		7	
		 夜勤要員が減ってきていること	
		から早期の夜勤者確保が大事。	
		来年度事業における特定技能実	
		習生の受入について予算の審議	
		にも関係することなので理事会	
		での承認が必要と思われる。	
		人件費比率も高くなっているこ	
		とから事業費、事務費等のバラ	
		ンスを踏まえた適正規模にある	
		かの検討が必要。新年度事業計	
		画においては、現状を踏まえた	
		中で調整いただきたい。	
		介護従事者としての責任を持	
		ち、感染対策を徹底し施設に持	
		ち込まないよう徹底して欲しい	
		人材育成基金の増設から事業を	
		行うための取崩し処理が適正に	
		処理されていない、修正が必要	
		であり決算までに適正に処理さ	
		れたい。	
		役員の選任については現役員か	
		らの意見も聞きながら体制を整	
		えるように	

10 一般の寄付の状況

区 分	本部経理区分受入 ぶなの園経		経理区分受	受かたくりの園経理区分割		
				入		
	人数	金 額	人数	金 額	人 数	金額
(うち取引業者) 業 者						
利 用 者						
利用者の家族	4	190, 000	2	130, 000		
その他						
計	4	190,000	2	130, 000		

11 高額物品の購入状況

物品名 特別養護老人ホームぶなの園 火災受信盤・放送 AMP リニューアル工事一式

入札方法 随意契約(選定委員会による選定)

契約相手 盛岡市青山2丁目20番5号

岩手ノーミ株式会社

納 品 令和4年10月27日

物品名 ホームヘルプステーションぶなの園 公用車 (ヘルパー車) 購入事業

入札方法 随意契約(見積合わせによる)

契約相手 北上市北鬼柳 32-86-1

岩手トヨタ自動車株式会社 北上店

納 品 令和5年2月9日

物品名 特別養護老人ホームぶなの園 電子錠改修工事 一式

入札方法 随意契約 (選定委員会による選定)

契約相手 盛岡市本宮5丁目5番5号

株式会社 タカヤ

納 品 令和5年2月14日

物 品 名 特別養護老人ホームぶなの園 厨房食器洗浄機入替事業 一式

入札方法 随意契約(見積合わせによる)契約相手 北上市九年橋2丁目4-3

ホシザキ東北株式会社

納 品 令和5年2月24日

第2章 総務課

1 事業の総括

- (1) 今年度下期において、新型コロナ感染拡大により、住民・利用者に多大なご迷惑をお掛けすることになってしまい、職員の労働環境を含め厳しい内容であった。
- (2) 年度を通じて多くの離職者があり、十分な人材確保に至らなかった。その為、新型コロナ 感染拡大と合わせて、必要な研修が十分に受けられない状況であった。人材育成としては、 外国人技能実習生の教育支援など協力して実施することが出来た。
- (3) 財政面では、設備老朽化に伴う修繕や車両の整備として、24時間テレビから福祉車両の寄贈を受けることが出来るなど、厳しい状況ではあったが一定の成果が得られた。

2 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート職員	計
施設長	1	0	0	1
事務員	2	1	1	4
機能訓練指導	1	0	1	2
員				

3 重点目標

- (1) 利用者に寄り添う(人権尊重・質の高い介護)
 - ア 研修の実施状況として、十分な内容には至らなかったが資格取得に向けた研修受講の支援をすることが出来た。
 - イ 地域連携として、町内医療・福祉関係機関と連携を密にしながら、新型コロナ感染拡大 の対応にあたる事が出来た。残念ながら、地域課題の課題発掘には至らなかった。
- (2) 快適な環境づくり(安全・安心)
 - ア 施設設備老朽化に伴う修繕や高額備品の購入、車両の入替など予定されていた内容については実施することが出来た。しかし、改めて大規模修繕を含む整備計画の見直し策定には至っていない。
 - イ 業務継続計画をある程度準備し備えていたが、新型コロナ感染拡大時においては、想定 をはるかに超えた内容となり、不備が露見することとなった。今後は、今回の対応を踏ま え改めて、業務継続計画の策定を実施したい。
- (3) 互いに支え合い(人材育成・チーム介護)
 - ア 今年度、職員の資格収得に向けた人材育成基金を活用した取り組みにより成果を得ることが出来た。しかし、募集している人材の全てを確保することは出来ず、一部では人材仲介業者の協力により、必要職種を確保するなど想定以上の費用負担が発生し、予算化を含め、次年度での負担増も見込まれている。
 - イ 人材定着として定年制度の見直しにより、規定類の改正は実施出来ている。しかし、ホームページや求人等による情報発信をしていても成果には繋がっていない。
 - ウ 職員の処遇改善については介護保険制度を活用しながら、法人としても取り組んできている。人事考課については、次年度以降に実施できるように努めたい。
- (4) 地域と共に(共生社会)

- ア 町総合計画見直しを前にして、法人全体の事業の見直しを迫られている。今後も町内の 介護保険認定者の動向を注視するとともに、法人内の人材確保状況を照らし合わせて事業 展開を検討して行く。
- イ 法人の情報発信としては、パンフレットの刷新には至らなかったが、ホームページを活 用し最新の情報を迅速に発信することが出来た。

次年度以降で地域の方々への器具の開放や使用の機会を検討しており、予防事業の形で 実施できるように検討を進めていく。

- (5) 明日をつくる(社会参加と健全経営)
 - ア 退職者が続いたことや感染症発症等、法人運営に大きな影響を受けている。職員の定着 化を図る或いは法人運営の適正化を図る事を意識した規定の改正等には取り組んで来てい る。
 - イ 財政の適正化としては、歳入の減少により厳しい状況となっている。事業の見直し等を 行いながら改善に向け、引き続き努力します。

4 年間施設管理計画の実施状況

- 4月8日 除菌水生成装置設置場所確認
- 4月14日 タイヤ交換作業
- 4月14日 デイぶなサービス提供場所変更(交流スペースへ)
- 4月15日 みまもりキューブ設置調整
- 4月18日 除菌水生成装置設置
- 4月21日 猿橋宿舎 雪囲い外し作業
- 4月28日 フェンス取付作業、雪囲い撤去作業
- 4月29日 デイぶなサービス提供場所変更(在宅スペース戻り)
- 5月26日 機械設備保守点検 ろ過機配管洗浄 水質検査検体採取
- 6月4日 環境整備 家族会・職員除草作業
- 6月13日 雪囲い撤去作業(北側非常口)
- 6月14日 特殊浴槽保守点
- 6月22日 コピー機点検
- 6月30日 機械設備保守点検 地下タンク清掃
- 7月1日 防災設備修繕前現場確認
- 7月20日 業務用洗濯機保守点検 故障修理
- 7月22日 交流スペース仕切りカーテン設置
- 7月26日 太田婦人会除草作業
- 7月27日 環境整備 除草作業
- 7月27日 電気設備点検 停電
- 7月28日 機械設備保守点検 空調設備点検
- 7月29日 機械設備保守点検 ばい煙測定
- 7月29日 送迎車両(キャラバン)リコール対応
- 8月8日 厨房用ガス設備 メーター交換
- 8月9日 機械設備保守点検 空調設備点検
- 8月10日 パソコン設備 LAN工事

- 8月24日 環境整備 猿橋宿舎除草作業
- 8月25日 洗濯用ガス設備 給湯器交換
- 8月26日 自動販売機交換
- 9月2日 かたくり送迎車両 (キャラバン) リコール対応
- 9月6日 環境整備 除草作業
- 9月13日 防災設備修繕前機器確認
- 9月14日 防災設備修繕前機器確認
- 9月16日 かたくり送迎車両 (キャラバン) リコール対応
- 9月27日 防災設備修繕前機器確認
- 9月30日 送迎車両 (ローザ) 買取査定
- 10月4日~6日 防災設備修繕工事
- 10月12日 環境整備 建物窓ガラス洗浄
- 10月20日 パソコンセキュリティー診断
- 10月25日 計量器検査
- 10月27日 防災設備修繕後 消防署立入検査
- 10月27日 電子錠設備修繕前現場確認
- 11月9日 タイヤ交換作業、雪囲い設置作業
- 12月19日 電子錠設備修繕工事
- 12月20日 コピー機入替
- 1月12日~2月14日 電子錠設備修繕工事
- 1月23日 消防設備点検
- 2月8日 オゾン発生装置、除菌掃除機導入
- 2月9日 ヘルパー車納車
- 2月10日 機械設備保守点検 ばい煙測定
- 2月14日 電子錠設備修繕工事完了検収
- 2月21日 抗菌Qゲート修理
- 2月24日 地下タンク油面計調整
- 2月24日 食器洗浄機納品入替
- 3月10日 入浴介助用リフト修理
- 3月13日 特殊浴槽保守点
- 3月23日 自動販売機交換
- 3月30日 24時間テレビ福祉車両寄贈式 (ハイエース)

5 職員研修の状況

開催日	研修内容	主催者	開催地	開催期 間	参加者
5/19 · 5/25	内部学習会(ケアマネジメン ト)	特養ぶな	食堂	1時間	特養 33名
5/24	医療的ケア教員講習会	HAPPY & SMILECOLLEGE	オンライン	1 日	浩子 信子
6/15 • 6/20 6/21 • 6/28	西和賀町自立支援型ケアマ ネジメント研修会	西和賀町	オンライン	1時間	在宅 5名

6/17	内部学習会(感染症委員会)	特養ぶな	1・2丁目食堂	30分	特養 13名
7/1 • 7/15	介護予防ケアマネジメント 研修	北上市	Web	2 日	宏明
7/5~7/6	社会福祉従事者新人職員研 修会	県社協	アピオ	2 日	健一 賢佑
7/19~7/23	社会福祉主事資格認定通信 課程スクリーニング	中央福祉学院	ロホス湘南	5日	真希子
7/25	内部学習会(褥瘡について簡 単に知っておこう)	特養ぶな	1・2丁目食堂	15分	特養 7名
7/29	介護職員等ベースアップ等 支援加算に係るWeb説明会	県福祉部 長寿社会課	Web	30分	篤
8/19	内部学習会(口腔ケア、食事・ 身体介助における感染予防)	特養ぶな	地域交流スペース	1 時間	特養 11名
8/22	食の安全安心を考える講座	岩手県環境生 活部	マリオス	1 日	由喜子
8/23	都道府県経営経セミナー(前 期)	経営協	ホテルメト ロポリタン 盛岡	半日	施設長
8/23	認知症キャラバン・メイト養 成研修		岩手教育会 館	1日	石川 大地
$8/25 \sim 31 \cdot 9/6$ $10/25 \sim 28$ $11/28 \sim 12/1$	岩手県主任介護支援専門員 研修	いきいき支援 財団	盛岡アートホテル他	11日	直人
8/25~8/26	福祉職員キャリアパス対応 職員障害研修課程【中堅職員 編】	社会福祉事業団	オンライン	2日	直子
$8/28\sim29$ $9/29/5\sim6\cdot27$ $10/10\sim11$ $12/6\sim8$	岩手県介護職員等医療的ケア研修	県社協	アイーナオンライン	11日	恵理子
9月~2月	介護福祉士資格認定研修	HAPPY & SMILECOLLEGE	オンライン	希・信行・ 米澤大地・	
9/7	認知症サポーター養成講座 (講師依頼)	西和賀町	湯田小学校	50分	世理子
9/11	介護施設における安全対策 担当者養成研修	全国老施協	Web	1日	篤
9/12	県南ブロツク高齢者福祉協 議会職員研修会	県南ブロツク 高齢協	Zoom	1時間	真美
9/17	実習指導者フォロー研修会	県社会福祉士 会	オンライン	2時間	直人
9/21 • 9/28	内部学習会(不適切な介護)	在宅福祉課	デイフロア	1時間	在宅 11名
9/25	内部学習会(窒息(誤嚥)の対 応手順について)	特養ぶな	3丁目食堂	30分	特養 9名

	T				1
9/27 • 9/28	社会福祉コーチング研修	県立大	オンライン	2日	渉真希
9/28	内部学習会(不適切ケアについて)	特養ぶな	地域交流スペース	1時間	特養 13名
9/28	社会福祉法人経営サポートセミナー	県保健福祉部	アイーナ	1 日	康文 施設長
10/5	安全運転管理者等講習会	岩手県公安委 員会	さくらホール	1日	宏明
10/17	内部学習会(爪切り)	デイぶな	YouTube	1時間	デイ 5人
10/20	認知症の食支援がよくわか る!摂食嚥下マネジメント	デイぶな	オンライン	1 時間	紀子 浩子 恵
10/20~10/22	運行管理者基礎講習	紫波中央自動 車学校	紫波中央自動車学校	3 日	施設長
11/10	しごとネットさくら障がい 者雇用研修会in西和賀	西和賀町	西和賀消防署	2時間	施設長
11/16	ケアマネ支援センター相談 事例の内容紹介研修	いわての保健 福祉支援研究 会	北上市総合福祉センター	1日	宏明
11/17	在宅栄養ステップアップ研 修会	岩手県栄養士 会	川尻保健センター	2時間	真美 江利子 大輔
12/7	安全運転管理者等講習会	岩手県公安委 員会	さくらホール	1日	利幸
12/12	岩手県地域包括支援センタ ー業務支援研修Ⅱ	いきいき支援 財団	ホテルニュ ーカリーナ	半日	宏明
12/13	福祉用具・住宅改修研修会	いきいき支援 財団	さくらホール	5時間	富子 宏明
12/16	県南ブロック高齢者福祉協 議会職員研修	県南ブロツク 高齢協	Zoom	2 時間	紀子
1/25	岩手県地域包括支援センタ ー業務支援研修 I	いきいき支援 財団	オンライン	1日	富子瞳
1/28	実習指導者フォロー研修会 第2回	岩手県社会福 祉士会	オンライン	2時間	直人
2/15	介護労働者雇用管理責任者 講習(総合コース)	介護労働安定 センター	Web	1日	篤
2/15 • 2/16	内部研修会(認知症総合支援 伝達研修)	在宅福祉課	デイフロア	1 時間	在宅 13名
2/18	西和賀町社会福祉大会	社会福祉協議会	銀河ホール	半日	施設長
2/18	コロナ感染クラスター経験 事業所と町議会議員との懇 談	光寿苑	特別養護老 人ホーム光 寿苑	2時間	施設長

3/	26	岩手県主任介護支援専門員 協会定例研修会	県介護支援専 門員協回	アートホテ ル盛岡	半日	直人	
----	----	-------------------------	----------------	--------------	----	----	--

※社会福祉事業団(岩手県社会福祉事業団)、県社協(岩手県社会福祉協議会)、経営協(社会福祉法人経営者協議会) 北上ケアマネ連絡会(北上地区ケアマネジャー連絡協議会)、県介護支援専門員協会(岩手県介護支援専門員協会) 包括支援センター(西和賀町地域包括支援センター)、県南ブロック経営協(県南ブロック社会福祉法人経営者協議会) いわてリハビリセンター(いわてリハビリテーションセンター)

6 会議の状況

(1) 経営会議

1) 栓呂会議									
開催日	議 題								
5/9	・令和4年度5月事業・行事確認について								
	・令和3年度3月実績による収支状況及び経営状況について								
	・令和3年度決算について								
	・令和3年度事業報告について								
	・新型コロナウイルス関連対応について								
	・令和4年度人員体制について								
	・LIFE対応について								
5/27	・令和4年度6月事業・行事確認について								
	・令和4年度4月実績による収支状況及び経営状況について								
	・令和3年度決算について								
	・令和3年度事業報告について								
6/27	・令和4年度年7月事業・行事確認について								
	・令和4年度5月実績による収支状況及び経営状況について								
	・令和3年度事業報告について								
	・新型コロナウイルス関連対応について(新型コロナ対策本部会議)								
7/26	・令和4年度8月事業・行事確認について								
	・令和4年度6月実績による収支状況及び経営状況について								
	・令和4年度1四半期収支状況及び経営状況について								
	・令和4年度内部監査について								
	・新型コロナウイルス関連対応について								
8/26	・令和4年度9月事業・行事確認について								
	・令和4年度7月実績による収支状況及び経営状況について								
	・令和3年度第1四半期収支状況及び経営状況について								
	・人員体制について								
9/12	・デイサービスセンターかたくりの園運営について								
	・社会福祉法人やすらぎ会人員体制について								
9/26	・令和4年度10月事業・行事確認について								
	・令和4年度8月実績による収支状況及び経営状況について								
	・新型コロナウイルス関連対応について								
	・事例研究発表会について								
	・人員体制について								
L	I								

10/26	・令和4年度11月事業・行事確認について
	・令和4年度9月実績による収支状況及び経営状況について
	・令和4年度第2四半期収支状況及び経営状況について
12/6	・新型コロナウイルス関連対応について
	・理事会準備について
12/16	・新型コロナ感染に伴う補償について
	・規程改正について
12/22	・令和4年度1月事業・行事確認について
	・令和4年度11月実績による収支状況及び経営状況について
	・令和4粘土第三次補正予算について
1/4	・令和5年度予算について
	・新型コロナウイルス関連対応について
1/20	・令和5年度事業について
1/26	・令和4年度2月事業・行事確認について
	・令和4年度12月実績による収支状況及び経営状況について
	・令和4年度第3四半期収支状況及び経営状況について
	・第3四半期内部監査について
	・法人運営体制について
2/27	・令和4年度3月事業・行事確認について
	・令和4年度1月実績による収支状況及び経営状況について
	・令和5年度予算について
	・新型コロナウイルス関連対応について(新型コロナ対策本部会議)
	・法人運営体制について
3/13	・令和5年度予算について
	・令和5年度事業計画について
	・新型コロナウイルス関連対応について(新型コロナ対策本部会議)
	・法人運営体制について

(2) 総務課会議

開催日	議 題
4/1	・令和4年度年間予定の確認について
	・令和4年度業務分掌について
	・令和4年度担当委員について
	・令和4年度実施事業の確認について
	・令和3年度事業報告(総括の依頼)について
	・令和3年度事業報告について
5/6	・令和3年度決算について
	・令和4年度人員体制について
7/1	・令和3年度決算報告について
	・令和3年度決算について
	・職員体制について

・緊急理事会について					
・人員体制の確保について					
・研修体制の確保について					
・人員体制の確保について					
・修繕事業について					
・事例研究発表について					
・修繕事業について					
・理事会について					
・避難訓練について					
・1月の行事の確認について					
・予算編成対応について					
・次年度購入物品の対応について					
・内部監査対応について					
・3月の行事の確認について					
・予算編成対応について					
・補助金申請について					
・業務引継ぎについて					
・事業計画について					

(3) 新型コロナ対策本部会議

開催日	議題
4/4	・感染症対応について
4/11	・感染症対応について
4/26	・感染症対応について
5/9	・感染症対応について
5/27	・感染症対応について
6/13	・感染症対応について
6/27	・感染症対応について
7/12	・感染症対応について
7/26	・感染症対応について
8/9	・感染症対応について
1/26	・感染症対応について

7 職員の定期健康診断の実施状況

期日	実施人員	実施職種	検査項目	検査機関	
5/16	81人	全職種	体重・視力・血圧	A判定 11名	予防医学協会
5/30			尿・血液・体脂肪	B判定 38名	
			聴力・心電図	C判定 32名	
			胸部X線		
2/7~3/10	11人	夜勤者	体重・視力・血圧	A判定 2名	予防医学協会
			尿・血液・体脂肪	B判定 8名	

	聴力	C判定 1名	
--	----	--------	--

8 ストレスチェック

職員のメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的として実施する。 実施者は産業医とし、実施事務従事者を総務課職員が務める。

(1) ストレス調査、結果分析 9月~10月 52名実施

(2) 職員への通知、面接指導奨励 11月

(3) 労働基準監督署への報告 12月

9 感染症対策

10 全体行事の実施状況

令和3年度開催を予定していた全体行事は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い検討を 重ねた結果、全体での開催を断念し事業所ごとでの開催とした。

第3章 施設福祉課

- 〇特別養護老人ホームぶなの園(指定介護老人福祉施設)定員50名
- 〇ショートステイぶなの園(指定短期入所生活介護・指定介護予防短期入所生活介護)定員10名

1 事業の総括

特別養護老人ホームとショートステイを合わせた利用目標の稼働率が95%に対して、88.5% と目標達成には至っていない。上期は前年度と比べて利用率も高く目標に近づくことができていたが、下期は新型コロナウイルス感染症拡大によりショートステイの受入れを中止した事と、特養利用者の長期入院や亡くなった方が多かったことが影響し稼働率を下げる結果となった。またパート職員を含め退職者が多かったことにより、不足分の職員を確保することができず、頃な収束後もショートステイの受入れを制限せざるを得ない状況であった。それらの要因により目標を達成することができなかった。

2 重点目標

- (1) 利用者に寄り添う(人権尊重・質の高い介護)
 - ア 情報システム LIFE 導入に向けて、システム業者から説明を受けるなど、科学的介護への理解に努め、利用者の情報をシステム入力することで科学的介護加算収得に向けて取り組むことができた。
 - イ 医療と介護の連携を図るため、さわうち病院と年 2 回の連携会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染が施設内で拡大し、連携会議は年 1 回のみの開催となった。しかし、感染期間中はさわうち病院とウエブ等を通じて情報共有することができ、連携強化につながった。
- (2) 快適な環境づくり (安全・安心)
 - ア 利用者の事故防止に向けて見守りカメラを設置し、必要に応じて録画された映像を確認しながら事故検証を行うなど、安全確保につながる取り組みができた。
 - イ さわうち病院の協力により、全利用者の血液検査や月4回の回診、訪問歯科診療等を実施することができており、利用者の健康管理につながっている。また、結核検診を予防医学協会に依頼し、年1回実施している。
- (3) 互いに支え合い (チーム介護・モチベーション・人材育成)
 - ア 新型コロナウイルスのクラスター発生時は職員の自宅待機により勤務可能な人数がかなり限られたなか、施設全体がチームとなって支え合い、情報の伝達や共有を含めて業務を遂行できた。
 - イ 介護技能実習生のスキルアップに向けて多職種で定期的に話し合いを持っており、フィードバックを行うことで介護技術やコミュニュケーション能力の向上につながっている。
- (4) 地域と共に(共生社会・地域貢献)
 - ア 地域行事などに参加することで地域とのつながりを保つことをめざしてきたが、コロナ 禍においては実施できていない。
 - イ 地域の方々との交流の場となる「夏まつり」等の行事が、やはりコロナの影響で施設内 だけでの小規模開催となった。しかし、2月の雪像づくりは3年ぶりに沢内中学校生徒の 皆さんにご協力いただいて実施することができ、窓越しの交流ができた。

(5) 明日をつくる (コンプライアンス・健全経営)

- ア 会議にて毎月の実績を評価し、利用率の向上を目指してきた。しかし新型コロナウィルス感染症の発生により経営健全化につながる取り組みとはならなかった。
- イ 職員の定着や働きやすい職場を目指し個人面談を随時実施してきたが、定着の効果があったとは言えず退職者が多かった。

3 職員の状況

(令和5年3月31日現在)

		施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	理学療法士	機能訓練指導員	栄養士	調理員	その他	計
	正規	1	2	1	12	2	1	1		1	1		22
年 度	臨時		1		9						3		13
年度当初	パート		1		7	1			1		1	4	15
	任用				2						2		4
	採用		1		2	2					1		6
年度	パート												
度中	異動												
'	退職				6	2			1		1		10
	正規	1	2	1	9	1	1	1		1	1		18
年	臨時		1		6	1					2		10
度末	パート		2		8	1					2	4	17
714	任用			·	3						2		5

4 入所者利用者の状況

		施設入	所者		短期利用者				
	延利用者数	延利用日数	営業日	平均入所者数	延利用者数	延利用日数	営業 日	平均利用人数	
4月	51	1, 450	30		24	256	30	\	
5月	50	1, 504	31		24	254	31		
6月	50	1, 420	30		22	228	30		
7月	50	1, 512	31		22	215	31		
8月	50	1, 473	31		26	247	31		
9月	48	1, 554	30		26	269	30		
10月	52	1, 550	31		24	259	31		
11月	50	1, 436	30		9	127	30		
12月	50	1, 316	31		5	44	31		
1月	50	1, 468	31		4	77	31		
2月	50	1, 375	28		3	54	28		

3月	51	1, 503	31		3	56	31	
合計	602	17, 561	365	47.8	192	2, 086	365	5. 7
前年	601	17, 632	365	48.3	258	2, 327	365	6. 4
度								

5 要介護認定状況

(令和5年3月31日現在)

区 分 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護 5	合計	平均 介護度
男			3	1	6	10	4. 4
女			11	13	16	40	4. 1
計			14	14	22	50	4. 1

6 入退所の状況

	入所者数(左の内訳)					新規ノ	所者			退原	沂者	
	実人数	町	町	県	在	病	他施	<u> </u>	長期入院	他施	死	計
	<i>></i> ,,	内	外	外	宅	院	設		院	設	亡	
4月	51	2			1		1	2			2	2
5月	50	1					1	1				
6月	50	3			2	1		3	1		2	3
7月	50											
8月	50										1	1
9月	48	1					1	1	1			1
10月	52	1					1	1				
11月	50										3	3
12月	50	5			5			5			2	2
1月	50	2						2			2	2
2月	50	1			1		2	1			1	1
3月	51	1					1	1			1	1
合計	602	17			9	1	7	17	2		14	16

7 退所者の状況

性別	年齢	自治体	退所の理由	退所日	利用年数
女性	94歳	西和賀町	死亡 (老衰)	令和4年04月16日	4年05ヶ月
女性	99歳	西和賀町	死亡 (肺炎)	令和4年04月25日	9年04ヶ月
女性	84歳	西和賀町	長期治療	令和4年06月01日	4年00ヶ月
男性	96歳	西和賀町	死亡 (老衰)	令和4年06月17日	5年04ヶ月
女性	90歳	西和賀町	死亡 (老衰)	令和4年06月25日	5年03ヶ月
男性	96歳	西和賀町	死亡 (老衰)	令和4年08月30日	1年08ヶ月

女性	73歳	西和賀町	長期治療	令和4年09月29日	10年09ヶ月
男性	77歳	西和賀町	死亡 (コロナ)	令和4年11月23日	0年02ヶ月
女性	96歳	西和賀町	死亡 (コロナ)	令和4年11月25日	17年07ヶ月
女性	96歳	西和賀町	死亡 (コロナ)	令和4年11月27日	10年06ヶ月
女性	88歳	西和賀町	死亡 (コロナ)	令和4年12月03日	1年02ヶ月
女性	77歳	西和賀町	死亡 (コロナ)	令和4年12月08日	2年03ケ月
女性	89歳	西和賀町	死亡(看取り)	令和5年01月11日	14年01ヶ月
女性	96歳	西和賀町	死亡(看取り)	令和5年01月12日	1年03ケ月
女性	89歳	西和賀町	死亡(看取り)	令和5年02月12日	5年04ヶ月
男性	94歳	西和賀町	死亡 (老衰)	令和5年03月23日	13年06ヶ月

8 年齢構成の状況

(令和5年3月31日現在)

	40~	50~	60~	65~	70~	75歳	∌l.	最高	最低	平均
	49歳	59歳	64歳	69歳	74歳	以上	計	年齢	年齢	年齢
男				2	2	6	10	91歳	69歳	80歳
女				1	2	37	40	104歳	67歳	85歳
合計				3	4	43	50	97歳	68歳	82歳

9 在所期間の状況

(令和5年3月31日現在)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	平均在所 期 間
男	3	2	1	3	1		10	
女	13	10	3	11	2	1	40	
合計	16	12	4	14	3	1	50	

10 食事の状況

(令和5年3月31日現在)

	自	<u> </u>	一部	介助	全部介助			
	食堂	居室	食堂	居室	食堂	居 室 経管栄養	居 室 IVH	合計
男性	3		1		4	2		10
女性	7		12		17	4		40
合計	10		13		21	6		50

自 立:自分で食事ができる

一部介助:スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。

全部介助:自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

11 入浴の状況

(令和5年3月31日現在)

	/ (IH -//	VVDU					(13)	HO 0/101		
自立		白去		一部介助			全部介助		合計	
		一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽	一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽		l	
	男性		2		1		5	2	10	
	女性		7		9		7	17	40	İ

合計 9	10	12	19	50
------	----	----	----	----

自 立:自分で入浴でき洗える。

一部介助:自分で入浴できるが、洗うときや浴槽の出入りに介助を要する。

全部介助:自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

12 排泄の状況

(令和5年3月31日現在)

自立		一部介助			全部介助			合計	
		日中のみ	常時	夜間のみ	常時	夜間のみ	バルン	`□`ēI	
男性	1	2			5	1	1	10	
女性	5	5	6		18	4	2	40	
合計	6	7	6		23	5	3	50	

自 立:自分で昼夜とも便所又は簡易便器を使ってできる。

一部介助:介助があれば簡易便器でできる。

全部介助:自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

13 排泄に係る状況

(令和5年3月31日現在)

		対象人員	回数	定時	随時
おむつ	常時	31人	4回	3時、10時、15時、20時	0
トイレ誘導	常時	13人	6~10回		0
体位交換	褥瘡者	3人	12回	1日平均して夜間は3時間ごと	0
净位文换	その他	4人	8回	1日平均して夜間は3時間ごと	0

14 医療行為等の状況

(令和5年3月31日現在)

	胃ろう	吸痰	ターミナル
男性	2名	5名	
女性	5名	1名	1名

15 待機者の状況

(令和5年3月31日現在)

	待機者		
	付饭伯	うち町外	うち県外
男性	9名	0名	0名
女性	35名	1名	0名

16 施設外外来受診状況

通院医療機関名	受診科目	延通院者数
西和賀さわうち病院	歯科	63人
	内科	26人
	外科	16人
	眼科	7人
	整形外科	1人

	循環器	1人
	定期カテーテル交換(膀胱/経管)	19人
盛岡市立病院	神経精神科	3人
心のクリニック	神経内科	4人
県立中部病院	皮膚科	1人
花北病院	精神科(処方箋のみも対象)	9人
岩手医科大学付属病院	呼吸器内科	1人

17 入院の状況

	入院者延べ数	入院延べ日数	主な病名
4月	5人	81日	大腸がん・重度肺炎・検査
5月	3人	93日	誤嚥性肺炎・肺炎
6月	5人	66 日	重度肺炎・看取り・肺炎・心不全
7月	4人	41日	胃ポリープ・歯の化膿・蜂窩織炎・胸水
8月	5人	82日	蜂窩織炎・胸水・誤嚥性肺炎・肺炎
9月	3 人	64日	右足切断・肺炎
10 月	1人	6日	蜂窩織炎
11月	8人	60日	肋骨骨折・新型コロナウイルス
12 月	8人	163日	肋骨骨折・新型コロナウイルス
1月	5人	70日	新型コロナウイルス
2月	3人	23日	食道癌・認知症・尿路感染症・腎臓結石
3月	2人	11日	腎臓結石
合計	52人	760日	
月平均	4. 3人	63. 3 日	

18 食事数の状況

		朝食			昼負				夕食		経
	入所	短期	職員	入所	短期	デイ	職員	入所	短期	職員	管栄養
4月	1, 235	218	0	1, 236	253	200	401	1, 237	221	15	7
5月	1, 286	217	0	1, 286	254	206	376	1, 286	223	17	7
6月	1, 201	188	0	1, 202	227	209	376	1, 204	194	26	7
7月	1, 325	168	0	1, 324	214	233	408	1, 324	172	14	6
8月	1, 286	194	0	1, 260	244	233	413	1, 261	201	11	7
9月	1, 246	222	0	1, 247	264	245	423	1, 248	227	16	7
10月	1, 322	214	0	1, 323	257	241	405	1, 323	223	14	7
11月	1, 235	125	0	504	92	28	270	1, 231	121	4	7
12月	1, 125	40	0	1, 128	42	147	306	1, 128	42	14	6

1月	1, 275	73	0	1, 277	74	212	319	1, 279	74	16	6
2月	1, 204	48	0	1, 206	49	192	396	1, 206	48	9	5
3月	1, 352	49	0	1, 351	53	193	324	1, 351	50	6	6
合計	15, 092	1, 756	0	14, 344	2, 023	2, 339	4, 317	15, 078	1, 796	162	78
月平均	1, 258	146	0	1, 195	169	195	360	1, 257	150	14	7

19 行事食の状況

実施日	行事食名	献立内容
4/27	お花見定食	ちらし寿司、そば汁、天ぷら盛合せ、煮物、さくら大根、練切
5/5	子供の日メニュー	オムライス、吸物、エビフライ、塩昆布とそら豆のポテトサラダ、鯉のぼり
6/3	さなぶり定食	梅しらすご飯、えびのつみれ汁、天ぷら、竹の子とふきの煮物、西ワラビ、
0/ 3	となるりた良	あじさいゼリー
7/7	七タランチ	七夕ちらし寿司、七夕そうめん、鶏唐揚げ、七夕の夜
7/23	土用の丑の日	うなぎちらし寿司、吸物、菜の花のごまあえ、芋ようかん
8/13	お盆メニュー	赤飯、吸物、精進揚げ、ところ天三杯酢、ブリ揚げ煮
9/16	敬老会弁当	松茸ご飯、吸物、金目鯛の煮魚、刺身、天ぷら、茶碗蒸し、メロン
10/18	ラーメンバイキング	ラーメンバイキング、チャーハン、蒸し餃子
11/	海鮮丼	未実施(コロナ)
12/23	クリスマスメニュー	握り寿司、吸物、豚の角煮、黄花シュウマイ、白和え、茶碗蒸し、ババロア
12/31	年越しメニュー	年越しそば、サラダロール、筑前煮、大根一本漬け
1/1	おせち	赤飯、雑煮、盛合せ、マグロの刺身、鶏肉三色巻き、みかん
1/7	七草粥	七草粥、豆腐けんちん煮、わかめと玉ねぎのツナサラダ、漬物
2/3	節分の日	ちらし寿司、豚汁、豆の煮物、いちごフルーチェ
3/3	お雛様メニュー	ばらちらし寿司、はまぐりのすまし汁、煮物、三色花ゼリー
4/27	お花見定食	ちらし寿司、そば汁、天ぷら盛合せ、煮物、さくら大根、練切

20 行事の状況

実施日	名 称	実施内容
5/8	花見ドライブ	外気に触れ、景色を見ることで沢内の春の訪れを感じる
0,0	10,017	ことができた。
6/19~	外気浴	コロナ過でもあり施設周りの散歩で心身の健康を維持
7/7	不在者投票	参議院議員通常選挙
		夏祭りの雰囲気を味わっていただくために、在宅と一緒
8/5	夏まつり(施設内	に実施している。職員は夏祭りらしい服装をして中庭で
0/0	部での実施)	模擬店を開き、メインは職員による盆踊り太鼓を実施す
		る。
9/16	し 一敬老会	長寿を祝い健康を祈願した。例年であれば祝賀会との二
9/10	収 名云	部構成だが、式典のみの実施
9/22	秋の彼岸法要	浄円寺住職をお招きし、法要と法話を実施
1/4	新年交賀会	歳祝い該当者を中心に、利用者にとって今年一年が良い

		年であるように願いながらお祝いを実施
1/16	小正月	昔ながらの伝統の遊び、ほっびきを楽しみました。
2/3	節分豆まき	職員が赤鬼青鬼となり、一年の無病息災を願い、豆まき
2/3	即分立まる	を実施
3/3	お雛様	ひな壇と記念撮影を実施
3/22	春の彼岸法要	南昌寺住職をお招きし、法要を実施
3/27~30	あったま風呂	お好みの入浴剤を選んでいただき実施

21 ボランティアの状況

団体名	1回当たりの 平均参加人員	事業のかかわり方
理容ボランティア	2人	整髪13回
ぶなの園家族会	23人	花植え、建物周辺除草作業掃等の環境整備
太田婦人会	8人	草取り

22 会議等の状況

(1) リーダー会議

開催日		議題
4 / 4	・令和3年度事業報告について	・全職員会議について
4/4	・加算導入に向けて	・3月の利用状況と課題について
T /0	・職員からの意見等について	・重点目標の進め方について
5/2	・家族会環境整備について	・4月の利用状況と課題について
6/2	・職員からの意見等について	・重点目標の進め方について
0/2	・業務分掌について	・5月の利用状況と課題について
7/4	・職員からの意見等について	・不在者投票について
1/4	・苦情について	・6月の利用状況と課題について
8/2	・職員からの意見等について	・苦情について
0/2	・夏まつりについて	・7月の利用状況と課題について
9/2	・職員からの意見等について	・家族会窓ふき対応について
9/2	・8月の利用状況と課題について	・購入物品予算要求について
10/4	・職員からの意見等について	· 上期事業計画実施評価
10/4	・9月の利用状況と課題について	・下期物品購入について
11/2	・職員からの意見等について	・職員面談に向けて
11/2	・10月の利用状況と課題	・家族会研修について
12/2	・住民の通常生活の確保に向けて	ショーステイ受け入れに向けて
12/2	通常勤務体制に向けて	・新型コロナウイルス施設内感染振り返り
1/6	・職員からの意見等について	・住民の通常生活に向けての進捗状況
1/0	・職員体制について	・次年度予算要望
	・職員からの意見等について	・事業方針及び重点目標について
2/2	・新型コロナ等感染症発生における	る業務継続計画について
	・看取り利用者の対応及び課題につ	ついて ・利用状況及び課題について

2/16	・令和4年度重点目標について	・令和4年度委員会について
	・令和4年度年間予定について	・全職員会議の内容について
2 /9	・令和5年度職員体制について	・ショートステイ利用者確保について
3/2	・厨房職員かたくりの園応援につい	つて

(2) 介護主任副主任会議

開催日	議題
101 E F	・今後の職員会議について・新人指導進捗状況
4/6	・ショートステイ受入れについて ・ 夜勤職員アンケート調査結果
	・健康診断当日の流れについて・新人指導進捗状況について
5/6	
	・ショートステイ受入れについて・介護職員の状況
6/6	・新人指導進捗状況について・ショートステイ受入れについて
	・医療行為について・業務改善・接遇について
7/6	・新人指導進捗状況について・ショートステイ受入れについて
,	・医療行為について・業務改善・接遇について
8/8	・新人指導進捗状況について ・ショートステイ受入れについて
0,0	・介護職員減少に伴う職員体制について ・接遇について
9/7	・新人指導進捗状況について ・ショートステイ受入れについて
9/1	・敬老会について・介護職員対象のしゃべり場について
	・新人指導進捗状況について ・ショートステイ受入れについて
10/4	・超過勤務発生時の動きの確認 ・事故発生時の受診までの流れ
	・新人パート職員の業務内容について
11/4	・新人指導進捗状況について ・ショートステイ受入れについて
11/4	・新型コロナウイルス感染症に関する業務内容の確認
	・コロナ感染クラスター後の日常生活への戻し方について
12/7	・ショートステイ受け入れについて ・新規入所者の居室について
·	・職員体制について
1/10	・日常生活が取り戻されている中での課題 ・身体拘束の解除に向けて
	・技能実習生について
- 1-	・職員体制について・技能実習生について
2/7	・浴室修理について
3/6	・職員体制について・5月特定技能実習生の指導体制について
3/6	・職員体制について・5月特定技能実習生の指導体制について

(3) 介護職員会議

開催日	議 題
4/5	·全職員会議(事業計画、組織体制、業務分掌、担当職員、委員会、年間予定、
4/ 0	アルコールチェック義務化、認知症基礎研修、医療的ケア)
5/10	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・見守りキューブについて
6/9	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・見守りキューブについて
7/19	・私の望むシートについて ・排便量の基準について
7/12	・住民からの聞き取りについて・パート職員の業務

8/10	・町内でのコロナ感染状況増を受けて ・業務改善について
	・外国人技能実習について
9/13	・接遇について・排便処置について
	・業務改善について・外国人技能実習について
10/14	・緊急時対応マニュアル(夜間帯編)更新 ・業務改善について
	・外国人技能実習生について
11/	・新型コロナウイルス感染拡大により中止
12/24	・介護用品の選定(見守りキューブ、離床センサー、低床ベッド等設置場所)
1/13	・業務改善・外国人技能実習生について ・1-2丁目の夕食後の着床について
2/10	・県立大ソーシャルワーク実習生受入について ・オゾン発生装置について
	・業務改善について・外国人技能実習生について
3/9	・業務改善について・住民の介助方法について
	・外国人技能実習生について

(4) 入所検討委員会

開催日	外部参加	議題
4/27	1名	・入所待機上位者の検討
9/14	1名	・入所待機上位者の検討
12/19	1名	・入所待機上位者の検討
1/16	1名	・入所待機上位者の検討
3/8	1名	・入所待機上位者の検討

(5) 第三者評価委員会

開催日	外部参加	議題
6/30	4名	• 令和 3 年度第三者評価委員活動報告
		・令和3年度事故報告並びに苦情報告
		・令和3年度第三者評価委員活動報告
8/25	1名	・コロナ感染対策の状況確認
		・利用者に対する接遇について
		・利用者の生活の様子を確認(環境・人権配慮等)
9/16	1名	・敬老会活動状況調査 (歌を映像で鑑賞)
		・利用者に対する接遇について
		・おやつ提供について(接し方・メニュー)
10/7	1名	・入浴介助及び昼食介助等の状況確認
		・利用者に対する接遇について
		・食事介助等の人員体制など確認
2/6	1名	・利用者に対しての職員の対応と利用者からの要望確認
		・環境に関する調査
		・居室内での生活状況確認
2/21	4名	· 令和 4 年度第三者評価委員活動報告

	・令和4年度入所者状況及び介護事故等の報告
	・令和5年度活動計画(案)
	・令和5年度第三者評価委員の構成

(6) 介護安全対策委員会(事故防止・身体拘束・虐待防止)

開催日	議題					
Г/0Г	・虐待防止への取組み ・身体拘束状況について ・事故検証					
5/25	・身体拘束及び虐待発生後のマニュアルについて					
C /97	・5月の事故ヒヤリハットについて ・身体拘束内部研修について					
6/27	・虐待防止及び身体拘束廃止に向けて					
7 /97	・6月事故ヒヤリハットについて ・虐待防止内部研修について					
7/27	・虐待防止及び身体拘束廃止に向けて					
8/29	・7月事故ヒヤリハットについて ・虐待防止及び身体拘束廃止に向けて					
0 /00	・8月事故ヒヤリハットについて ・虐待防止及び身体拘束廃止に向けて					
9/28	・事故防止に向けた研修について ・身体拘束ゼロへの手引きの確認					
19/99	・10月、11月の事故ヒヤリハットについて ・虐待防止内部研修について					
12/28	・虐待防止及び身体拘束廃止に向けて					
1/26	・12月事故ヒヤリハットについて ・身体拘束の状況確認及び改善について					
1/20	・事故報告等から虐待につながる事例について					
	・1月事故ヒヤリハットについて ・身体拘束の状況確認及び改善について					
2/22	・事故報告等から虐待につながる事例について					
	・令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について					
3/29	・2月事故ヒヤリハットについて ・身体拘束の状況確認及び改善について					
3/49	・事故報告等から虐待につながる事例について					

(7) 看取り介護委員会

開催日	議題
5/23	・マニュアルの更新について ・看取りケア対象者の様子について
2/24	・マニュアルの確認について ・令和4年度総括及び令和5年度活動計画

(8) 痰の吸引等安全対策委員会及び褥瘡対策委員会

開催日	議題				
5/19	・各要綱確認 ・今年度目標について ・役割分担について				
6/15	・内部研修(褥瘡に対する意識、早期発見のための意識向上)				
8/24	・現在の褥瘡発生状況について・吸引に関わる学習会について				
2/28	・令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画について				

(9) 感染対策委員会

開催日	議題
-----	----

4/14	・令和4年度活動計画について ・マニュアルの確認			
	・職員及び利用者健康管理について・内部研修について			
6/17	・内部学習 (新型コロナウイルスの家庭内感染対応)			
7/13	・マニュアルの確認 ・職員及び利用者健康管理について ・内部研修報告			
	・新型コロナウイルス本部会議から			
10/6	・内部研修について ・職員及び利用者健康管理について ・県内の感染状況			
2/8	・標準予防策の徹底について ・令和4年度事業報告及び総括について			
	・令和5年度事業計画について			

(10) 口腔衛生管理委員会

開催日		議 題
E /2	・口腔衛生管理加算について	・歯科医師指導について
5/3	・口腔指導について	・内部学習会について
7/15	・歯科医指導内容の確認	・ヒヤリハットについて
7/15	・内部学習会について	・口腔指導について
1 /10	・ヒヤリハットについて	・内部学習会の振り返り
1/19	・令和4年度総括及び令和5年度	計画について

(11) 医務会議

開催日	議題					
5/10	・科学的介護推進体制加算取得に向けて	・業務改善について				
6/10	・科学的介護推進体制加算取得に向けて	・業務改善について				
7/13	・医療的ケア実地研修について	・業務改善について				
8/9	・医療的ケア実地研修について	・業務改善について				
9/7	・医療的ケア実地研修について	・業務改善について				
10/12	・医療的ケア実地研修について ・業務改善について					
11/	・新型コロナウイルス感染拡大により中止					
12/	・新型コロナウイルス感染拡大により中止					
1/12	・医療的ケア実地研修について ・日常を取り戻すための取					
2/10	・県立大ソーシャルワーク実習生受入に関し					
2/10	・業務改善について	・外国人技能実習生について				
3/9	・看取りについて ・褥瘡管理について	・業務改善について				

(12) 厨房会議

開催日	議題					
5/10	・行事食の振り返り ・利用者状況等個別対応の確認 ・禁止食品の確認					
5/10	・検食簿からの意見について					
6/10	・行事食の振り返り ・D番不在時の流れの再確認					
6/10	・検食簿からの意見について・・異物混入について					
6/14	・厨房職員勤務体制改善について					
7/19	・行事食の振り返り ・検食簿からの意見について ・業務改善について					

8/9	・行事食の振り返り ・検食簿からの意見について ・業務改善について			
9/9	・行事食の振り返り ・検食簿からの意見について ・敬老会の流れ			
9/9	・業務改善・10月の行事食の検討			
10/14	・行事食の振り返り ・検食簿からの意見について			
10/14	・10月の行事食について ・11月の行事食について検討 ・業務改善について			
	・行事食の振り返り ・検食簿からの意見について			
11/9	・11月の行事食について ・業務改善について			
	・感染対応時の厨房の動きについて			
12/	・新型コロナウイルス感染拡大により中止			
1/13	・検食簿からの意見について・12月、1月行事食振り返り			
1/13	・2月、3月の行事食のメニュー ・3月3日装飾担当について ・業務見直し			
2/10	・検食簿からの意見について ・行事食の振り返り			
2/10	・3月3日散らし寿司について ・業務見直し			
	・検食簿からの意見 ・行事食の振り返り ・業務改善について			
3/10	・厨房職員かたくりの園応援について ・令和5年度年間予定			
	・令和4年度活動報告 ・令和5年度活動計画			

23 事故報告書提出件数

事故内訳									
事故結果	転倒	転落	介助中	誤嚥 異食	誤与薬	本人 行為	原因 不明	その他	合計
死亡									0
骨折		2	1			1	1		5
出血	1		1			1			3
剥離							1		1
内出血			2				214		216
打撲									0
異常なし	1	3			4				8
その他					·	1		1	2
合計	2	5	4		4	3	216	1	235

24 苦情受付状況

相談の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	1件

第4章 在宅福祉課

〇西和賀介護相談室(指定居宅介護支援事業所)

西和賀介護相談室(介護予防支援事業)

1 事業の総括

令和元年度から特定事業所加算取得に伴い、その算定要件を満たすための取り組みとして週 1回の事業所連絡会議において、各々のケアマネジメントを振り返ることや通知や制度など必要な知識、法令や各種通知などの情報を共有する機会を持つことができた。

作成依頼件数について、要支援の委託件数は 195 件で前年度実績を 48 件下回ったものの、要介護の作成件数が 1,174 件と 2 年続けて 1,000 件を超え、前年度実績も 51 件上回ったことで合計 1,369 件となり、前年度実績 1,366 件を 3 件上回ることができた。

相談件数についても年々増加しており、令和4年度は前年度実績を88件上回る2,701件となった。

2 重点目標

- (1) 利用者に寄り添う(人権尊重)
 - ア 以前に担当していた家族からの依頼が複数あり、いずれも円滑にサービスへと繋がっている。
 - イ 研修会において事例に指導を受けている。利用者家族のニーズに沿ったプラン作成には 継続して務めている。
- (2) 快適な環境づくり(安全・安心)
 - ア 利用者や家族から直接連絡が来ることが多くなり、よりスムーズな対応ができている。 イ 事業所とも連絡調整が取りやすくなっている。
- (3) 互いに支え合い (チーム介護・モチベーション・人材確保)
 - ア リモート研修 (新型コロナ感染症について、自立支援研修等) に参加し、スキルアップ に努めた。自分たちで企画した内部研修会では、グループ討議や意見交換でお互いの考え 方や意識を理解することができて情報共有ができた。
 - イ 職員全員が有給休暇を取れている現状で、特に大きな病気やケガ等なく勤めることができた。
 - ウ 余命宣告を受けた利用者に対し看取り期の支援を行なったところ、家族よりいろいろと 良くしていただき、一連の対応に満足したと感謝していただける場面があり、働きがいを 改めて感じられる場面があった。
- (4) 地域と共に(共生社会・地域貢献)
 - ア 特に難しい対応がせまられた方や看取りの宣告を受けられた方などについて、関係する 部署や事業所で情報共有に努め支援にあたった結果、チームケアが実践できたと思われる。
 - イ 現在対応している利用者がいる一方、町内では70歳以上で支援費制度を使っている方々で介護認定を受けていない方も多くなっている。事業所としては開設以来、支援費制度を 併用されている方々のニーズに対応し、支援はできている。
- (5) 明日をつくる(社会参加と健全経営)
 - ア 目標は達成できている。町の動向に注視して新規利用者を受け入れできた。

イ 令和 4 年度は実務者研修の申し入れがなかった。今後申し入れがあった場合は受け入れ て行く。

3 職員の状況

	所長	管理者	介護支援専門員	計
令和4年度	(1)	(1)	3. 0	3.0 (1)
前 年 度	(1)	(1)	3. 0	3.0 (1)

4 利用者の状況

	要 夛	支 援	計			要介護			計	合計	相談
	1	2	訂	1	2	3	4	5	訂	TitT	件数
4月	7	12	19	38	29	19	9	2	97	116	212
5月	7	12	19	37	32	16	11	3	99	118	220
6月	8	12	20	36	34	15	11	3	99	119	210
7月	8	11	19	36	34	14	11	3	98	117	237
8月	8	9	17	35	35	16	10	2	98	115	231
9月	8	7	15	34	37	17	11	1	100	115	254
10月	7	7	14	35	35	14	12	3	99	113	249
11月	6	7	13	37	36	16	12	3	104	117	226
12月	6	8	14	36	37	16	9	2	100	114	257
1月	6	9	15	39	32	12	9	3	95	110	205
2月	6	9	15	37	32	12	9	3	93	108	200
3月	6	9	15	38	33	9	9	3	92	107	200
計	83	112	195	438	406	176	123	31	1,174	1,369	2,701
前年度	118	125	243	484	333	198	83	25	1,123	1,366	2,613

5 会議の状況

(1) 職員会議

開催日	議	題
	・令和2年度総括及び事業報告について	・前月実績の分析と今後の対応について
4/4	・コスト削減と業務改善について	・困難ケース等の検討及び情報交換
4/4	・業務分掌について	・有給休暇取得希望時期について
	・年間予定について	
	・前月実績の分析と今後の対応について	・コスト削減と業務改善について
5/10	・困難ケース等の検討及び情報交換	・令和2年度事業総括について
	・業務分掌について	有給休暇取得希望時期について
	・前月実績の分析と今後の対応について	・コスト削減と業務改善について
6/7	・困難ケース等の検討及び情報交換	・事例研究発表について
	・自立支援ケア研修について	
7/5	・前月実績の分析と今後の対応について	・新型コロナウイルス感染対応について

	・困難ケース等の検討及び情報交換・	・居宅サービス計画書等の新様式について
	・在宅福祉課内部学習会について	・事例研究発表について
	・家族懇談会の反省について	
0 /0	・前月実績の分析と今後の対応について	・新型コロナウイルス感染対応について
8/9	・困難ケース等の検討及び情報交換	・第1四半期実績について
	・前月実績の分析と今後の対応について	・困難ケース等の検討及び情報交換
9/6	・今年度事業計画の上半期総括について	・新型コロナウイルス感染対応について
	・高額物品購入について	・事例研究発表について
10/4	・前月実績の分析と今後の対応について	・新型コロナウイルス感染対応について
10/4	・今年度事業計画の上半期総括について	・ケース検討及び情報交換
	・前月実績の分析と今後の対応について	・今年度事業計画の進捗状況について
11/8	・新型コロナウイルス感染対応について	・困難ケース等の検討及び情報交換
	・課内研修報告会について	
	・前月実績の分析と今後の対応について	・次年度物品購入と予算要望について
12/12	・新型コロナウイルス感染対応について	・困難ケース等の検討及び情報交換
	・集団指導について	
	・前月実績の分析と今後の対応について・	・次年度購入希望物品と予算要望について
1/10	・次年度研修計画について	・困難ケース等の検討及び情報交換
	・書籍購入について ・新型コロナウイル	ス感染対応について ・ケア会議について
	・前月実績の分析と今後の対応について	・困難ケース等の検討及び情報交換
2/7	・今年度事業総括について	・次年度事業計画について
2/1	・書籍購入について	・新型コロナウイルス感染対応について
	・自立支援ケア会議について	
	・前月実績の分析と今後の対応について	・困難ケース等の検討及び情報交換
3/6	・次年度事業計画について	・今年度事業総括について
3/0	・Zoom研修について	・新型コロナウイルス感染対応について
	・アンケート調査の回答について	

(2) 連絡会議

開催日時	毎週火曜日 8:45~9:30 (但し、職員会議を開催した週を除く)
	困難ケース等事例検討、法令通知等情報の確認と整理、相談援助方法の確認
議題	各種制度等の学習会、担当者会議の持ち方と進め方、業務内容と業務範囲につい
	て、新型コロナウイルス感染対応について、業務の引継ぎについて、など

6 要介護等認定調査受託実施状況

	委託元	委託件数	委託元	委託件数	合 計	備考
4月	西和賀町	2			2	
5月	西和賀町	2			2	
6月	西和賀町	2			2	
7月	西和賀町	2			2	

8月	西和賀町	2			2	
9月	西和賀町	2			2	
10月	西和賀町	2			2	
11月	西和賀町	2			2	
12月	西和賀町	2			2	
1月	西和賀町	2			2	
2月	西和賀町	2			2	
3月	西和賀町	2			2	
合 計	西和賀町	24			24	
前年度	西和賀町	18	北上市	1	19	

7 研修受入れ

名 称	人数	実施時期 実施内容
岩手県立大学 社会福祉	2名	2/7・2/10 事業の概要説明、同行訪問等
士実習		

〇ホームヘルプステーションぶなの園(指定訪問介護事業) ホームヘルプステーションぶなの園(指定介護予防訪問介護事業)

1 事業の総括

令和4年度は必要な資格要件を満たすための研修等の受講を推し進めようとしたものの、コロナウイルス感染対応により受講予定の研修が相次いで計画されず、受講できなかった研修が多かった。一方で、ZoomやYouTubeなどWEBサービスを活用した研修を受講する機会を設けることで、情報共有を効率的に推し進めることができた。同行訪問による引継ぎや情報共有については、利用者及び家族の協力を得ながら丁寧に進めることを心掛け、支障なく事業を継続することができた。また、常に家族や関係事業所等と情報を共有し、安全に配慮した支援についても継続して取り組むことができた。

令和4年度の利用者のサービス利用の傾向として、要介護においては身体介護が増加し、生活援助と乗降介助が減少した。介護予防日常生活支援総合事業は減少し、指定障害福祉サービス事業は実利用者の増減がなく延べ利用者数が増となった。結果、全体では実利用者数307人と前年度335人を27人下回り、延べ利用者数も1,922人となり前年度1,962人を40人下回った。1日平均についても6.13人となり、前年度平均6.28人を0.15人下回ることとなった。

コスト削減と業務改善については、追加利用やキャンセル等があったときには訪問予定や配車などを速やかに見直し、常に円滑なサービス提供に配慮し業務にあたった。

2 重点目標

- (1) 利用者に寄り添う(人権尊重・質の高い介護)
 - ア 傾聴することで、話しやすい雰囲気づくりを心掛けて支援することができた。また、利 用者や家族が望む支援内容に近づけるよう取り組んだ。
 - イ 支援方法を定期的に検討することで、介護事故等を防ぎ支援することができた。

- ウ 利用者に合わせた接遇を行い、個々に責任を持ち支援した。また、介護技術等の疑問点 は早期に解決できるように取り組むことができた。
- (2) 快適な環境づくり (安全・安心)
 - ア 特変時には親戚やケアマネ等に連絡し受診の方向に繋げ、迅速に対応することができた。 また、状況に応じて訪問介護計画書の見直しを行うことで、統一したサービスの提供がで きた。
- (3) お互いに支え合い (チーム介護・モチベーション・人材育成)
 - ア web や動画での研修に参加して学習する機会を持つことができた。研修や学習会を通して介護技術はもちろんのこと接遇対応の学習を行い、馴れ合い関係にならないように支援した。
 - イ 利用者及び家族等の些細な変化も情報共有し、円滑な支援に繋げることができた。
 - ウ 計画的に有給休暇取を収得することで、業務に支障なく、心身ともに健やかな状態を保 つことができた。
- (4) 地域と共に(共生社会・地域貢献)
 - ア 利用者の困っていることを関係機関に伝えることで、地域との関わりを持ちながら自立 した生活を送ることができるように多職種と連携して支援する事ができた。
 - イ 曜日変更の要望に応じたり、2人介助の体制を整えたりしたことで在宅入浴が可能となり、家族の要望に沿った支援を行うことができた。
- (5) 明日をつくる(社会参加・健全経営)
 - ア 急な依頼でも迅速に受け入れる体制をつくり、目標数値を達成することができた。
 - イ 訪問時の対応を見てもらうことで、第三者評価委員からの助言を基にサービスの向上に つなげることができた。

3 職員の状況

		正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所		(1)			(1)	
サ [、] 者	ービス提供責任	1			1	1
	うち介護福祉士	1			1	1
訪問	問介護員	1	1		2	1.6
	うち介護福祉士	1	1		2	1.6

4 利用者の状況

(1) 介護度別実利用者数

	事 業	要 夛	え 援	丰			計	合計			
	対象者	1	2	Π	1	2	3	4	5	口	
4月	1	1	4	6	8	4	3	4	0	19	25
5月	1	1	4	6	7	4	3	4	0	18	24
6月	1	2	4	7	7	6	3	3	0	19	26
7月	1	3	3	7	9	6	2	3	0	20	27
8月	1	3	2	6	11	6	2	3	0	22	28

9月	1	3	1	5	10	6	3	3	0	22	27
10月	1	3	1	5	11	5	2	3	0	21	26
11月	2	2	1	5	12	5	3	3	0	23	28
12月	2	1	1	4	10	5	3	2	0	20	24
1月	1	1	1	3	8	2	2	2	0	17	20
2月	1	1	1	3	7	6	2	2	0	17	20
3月	2	1	1	4	8	6	1	2	0	17	21
計	15	22	24	61	108	64	29	34	0	235	296
前年度	12	6	62	80	106	70	33	40	2	251	331

(2) 1日平均利用者数

	事 業	要多	支 援	±1		9	更介證	生		⇒ 1	Λ =1	稼働
	対象者	1	2	計	1	2	3	4	5	計	合計	日数
4月	0.08	0.08	1.73	0.81	2.92	0.65	0.54	1.96	0.00	6.08	6.88	26
5月	0.08	0.12	0.77	0.88	2.50	0.69	0.31	1.69	0.00	5.19	6.08	26
6月	0.08	0.31	0.85	1.15	2.35	0.96	1.00	0.96	0.00	5.27	6.42	26
7月	0.12	0.46	0.50	0.96	2.65	0.92	1.00	0.88	0.00	5.46	6.42	26
8月	0.07	0.44	0.37	0.81	2.93	0.89	0.63	0.89	0.00	5.33	6.15	27
9月	0.08	0.46	0.19	0.65	2.58	1.54	0.46	0.88	0.00	5.46	6.12	26
10月	0.08	0.46	0.15	0.62	2.81	1.19	0.27	1.31	0.00	5.58	6.19	26
11月	0.12	0.27	0.12	0.38	3.04	1.00	0.35	1.85	0.00	6.23	6.62	26
12月	0.11	0.19	0.15	0.33	2.52	0.89	0.33	0.93	0.00	4.67	5.00	27
1月	0.08	0.15	0.12	0.27	2.00	0.96	0.23	0.85	0.00	4.04	4.31	26
2月	0.08	0.17	0.17	0.33	2.08	0.88	0.21	0.67	0.00	3.83	4.17	24
3月	0.11	0.19	0.19	0.37	2.00	0.96	0.15	0.67	0.00	3.78	4.15	27
計	0.09	0.27	0.36	0.72	2.53	0.96	0.46	1.13	0.00	5.08	5.80	313
前年度	0.08	0.07	0.97	1.12	1.99	0.85	0.54	1.49	0.02	4.88	6.00	313

(3) サービス種別実利用者数

		訪	問		計	身体	生活	乗降	身体	計	合計
	I	П	Ш	IV	訂	介護	援助	介助	生活	訂	口間
4月	4	1	0	1	6	17	5	4	0	26	32
5月	4	1	0	1	6	14	6	4	0	24	30
6月	5	1	0	1	7	15	6	3	0	24	31
7月	5	1	0	1	7	16	6	1	0	23	30
8月	4	1	0	1	6	18	8	1	0	27	33
9月	4	0	0	1	5	15	8	2	0	25	30
10月	4	0	0	1	5	16	7	2	0	25	30
11月	3	0	0	2	5	18	7	1	0	26	31
12月	2	0	0	2	4	18	5	2	0	25	29

1月	2	0	0	1	3	16	5	2	0	23	26
2月	2	0	0	1	3	12	5	3	0	20	23
3月	2	0	0	2	4	14	5	1	0	20	24
計	41	5	0	15	61	189	73	26	0	288	349
前年度	51	17	0	12	80	147	66	37	1	251	331

(4) サービス種別延利用時間数

		訪	問		∄l.	身体	生活	乗降	身体	∄ 1.	∧ ∌1.
	Ι	П	Ш	IV	計	介護	援助	介助	生活	計	合計
4月	10.75	6.00	0.00	1.50	18.25	100.0	20.50	3.50	0.00	124.00	142.25
5月	12.25	6.00	0.00	1.50	19.75	84.50	21.75	3.50	0.00	109.75	129.50
6月	17.75	6.00	0.00	1.50	25.25	77.50	25.50	3.50	0.00	106.50	131.75
7月	16.00	3.75	0.00	2.25	22.00	86.00	24.50	1.50	0.00	112.00	134.00
8月	13.00	4.50	0.00	1.50	19.00	81.50	28.50	0.50	0.00	110.50	129.50
9月	14.00	0.00	0.00	1.50	15.50	76.50	31.00	1.50	0.00	109.00	124.50
10月	13.00	0.00	0.00	1.50	14.50	84.00	23.50	1.50	0.00	109.00	123.50
11月	8.50	0.00	0.00	2.50	11.00	93.00	23.25	1.50	0.00	117.75	128.75
12月	8.00	0.00	0.00	2.50	10.50	82.50	19.50	1.50	0.00	103.50	114.00
1月	6.25	0.00	0.00	1.50	7.75	70.50	15.75	1.50	0.00	87.75	95.50
2月	7.00	0.00	0.00	1.50	8.50	53.00	15.25	2.50	0.00	70.75	79.25
3月	8.75	0.00	0.00	2.50	11.25	68.50	12.50	0.50	0.00	81.50	92.75
計	135.25	26.25	0.00	21.75	183.25	957.50	261.50	23.00	0.00	1242.00	1425.25
前年度	170.50	118.00	0.00	18.00	306.50	924.00	292.25	34.00	1.50	1251.75	1558.25

5 会議の状況

職員会議

開催日	議題
4/8	・前月実績に基づいた状況確認 ・前年度総括と事業所実績
4/0	・コスト削減と業務改善・業務分掌 ・有給休暇取得希望時期
5/11	・前月実績に基づいた状況確認 ・コスト削減と業務改善 ・公用車の洗車につい
5/11	て
6/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・事例研究発表
0/0	・コスト削減と業務改善・感染対応
7/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・家族懇談会の反省 ・事例研究発表
8/4	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応
0/4	・同行訪問・事例研究発表
9/5	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応 ・高額物品購入
9/0	・上半期事業計画の振り返り・事例研究発表・同行訪問
10/5	・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画の進捗状況と上半期の総括・同行訪問
11/9	・前月実績に基づいた状況確認 ・上半期総括と下半期の向けての取り組み

	・高齢者虐待防止対応マニュアル
19/19	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度物品購入と予算要望 ・人事要望
12/13	・家族懇談会の反省・・検便検査の実施・運転業務
1/10	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度の物品購入と研修計画 ・感染症対応
0 /7	・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度事業総括
2/7	・次年度事業計画・新型コロナウイルス感染対応
3/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度総括と次年度重点目標
3/1	・身分証明書の携行

6 研修受入れ

名 称	人数	実施時期	実 施 内 容
岩手県立大学 社会福祉士実習	2名	2月8日	事業の概要説明、同行訪問等

〇ホームヘルプステーションぶなの園(指定障害福祉サービス事業)

1 利用者の状況

		実	利用者数				延	利用者数		
	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計
4月	0	0			0	0	0			0
5月	1	0			1	7	0			7
6月	1	0			1	6	0			6
7月	1	0			1	5	0			5
8月	1	0			1	9	0			9
9月	1	0			1	9	0			9
10月	1	0			1	8	0			8
11月	1	0			1	8	0			8
12月	1	0			1	9	0			9
1月	1	0			1	8	0			8
2月	1	0			1	8	0			8
3月	1	0			1	8	0			8
計	11	0	0	0	11	85	0	0	0	85
前年度	24	0	0	0	24	272	0	0	0	272

[※]延利用時間数は延利用者数に同じ

〇ぶなの園営業所 (一般乗用旅客自動車運送事業)

1 利用者の状況

	5km未	満(600円)	5~15l	km未満(700 円)		上(1kmを増 たに50円加 算)	合	
	件数 延金額		件数	延金額	件数	延金額	件数	延金額

4月	5	3,000	4	2,800	2	1,600	11	7, 400
5月	4	2, 400	3	2, 100	2	1,600	9	6, 100
6月	1	600	8	5,600	2	1,600	11	7,800
7月	1	600	2	1, 400	2	1,600	5	3,600
8月	1	600	4	2,800	0	0	5	3, 400
9月	1	600	2	1, 400	2	1,600	5	3,600
10月	1	600	4	2,800	2	1,600	7	5,000
11月	1	600	2	1,400	2	1,600	5	3,600
12月	3	1,800	4	2,800	0	0	7	4,600
1月	3	1,800	4	2,800	0	0	7	4,600
2月	3	1,800	4	2,800	0	0	7	4,600
3月	1	600	5	3, 500	0	0	6	4, 100
合計	25	15, 000	46	32, 200	14	11, 200	85	58, 400
前年度	41	24, 600	47	32, 900	4	3, 200	92	60, 700

〇デイサービスセンターぶなの園(指定認知症対応型通所介護事業)定員 10 名 デイサービスセンターぶなの園(指定介護予防認知症対応型通所介護事業)

1 事業の総括

認知症対応型通所介護としての個別的なケアを心がけ実施している。年間利用者2,330人、1日平均7.47人となり、今年度の目標値1日平均8.0人を上回ることができなかった。令和4年度は施設内でコロナウイルス感染症のクラスターが発生し、11月から12月上旬にかけて32日間、営業を休止せざるを得なかった影響が大きく、第4四半期は前年度実績を上回るも目標数値へ挽回するまでには至らなかった。令和4年度は、前年度に引き続きコロナウイルス感染症の影響により文化祭が3年連続で開催されなかったが、広報やホームページ、福祉祭りにおいての作品展示を通じて数多くの作品の展示や活動内容を紹介することに努めた。また、外部ボランティアによる華道教室についても、感染拡大防止の観点から令和4年度は実施に至らなかったが、利用者の体力維持のための体操や屋外での園芸活動、個別の創作活動等は継続できている。

新型コロナウイルス感染症対応策として、外部の方との接触機会を減らすことと併せ、前年度から継続して浴室をデイと特養とで使用する時間帯を分けることで、感染拡大時においても特養と一線を画した対応が可能なサービス内容や体制等を確認した。

新型コロナウイルス感染症対策として外部の方との接触機会を減らすことと併せ、前年度から継続して浴室は特養と使用する時間帯を分けることで、感染拡大時においても特養と一線を画した対応が可能なサービス内容や体制等を確認した。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う(人権尊重・質の高い介護)

ア 送迎時の家族から情報や入浴後の皮膚チェック等の情報について、申し送り等を通して 職員間の情報共有ができた。また、それらの情報を家族やケアマネと共有することで、き め細やかなサービス提供に繋げることができた。

- イ 家族懇談会では新たに参加して下さる家族も居り、参加率が伸びてきている。家庭での 利用者の様子や在宅介護の家族のストレスを打ち明ける機会となり貴重な情報交換ができ た。また、提供している食事を懇談会にて試食していただく機会を設けたところ、大変好 評だった。
- ウ ヒヤリハットや事故発生時にはその日のうちに検証を行い、対策を講じた。毎月の職員 会議では、その後の経過を振り返り、必要に応じて対応を見直し、再発防止に努めた。
- (1) 快適な環境づくり (安全・安心)
 - ア 最新のかんせん感染情報や対応策に関する情報収集に努め、職員及び利用者の感染症発症を防止することができた。特養のコロナクラスター発生時には、営業を休止し特養業務に入り支援した。
 - イ 利用者の心身の観察を行ない、変化時には職員間で情報を共有し対応できた。職員においては体調を大きく崩す者がなく、業務遂行に支障はなかった。
- (3) 互いに支え合い (チーム介護・モチベーション・人材確保)
 - ア 職員会議等で業務改善や日課の見直しを討議する機会を設けた。業務時間の確保はできており、働きやすい職場環境の維持に努めた。業務マニュアルについて、令和4年度は入浴マニュアルを見直した。
 - イ 定期的に通所介護計画を見直し、現状把握や目標の確認と評価を行い統一した支援に取り組むことができた。
 - ウ 資格収得に挑戦する職員に対し、勤務調整等で支援した。結果、介護福祉士試験にて合格者を出すことができた。
- (4) 地域とともに(共生社会・地域貢献)
 - ア 6月と12月に開催した運営推進委員会では、コロナ禍での様々な影響やクラスター発生時の特養への業務支援について、動画や写真を交え報告することで一定の理解を得られることができた。
 - イ ボランティアの受入れはなかったが、県立大実習生の受入れを通して次世代の人材育成 へ携わることができた。地域の福祉まつりへ作品展示を行い、活動を紹介することができ た。
- (5) 明日をつくる(社会参加・健全運営)
 - ア 包括支援センターや各居宅介護支援事業所へデイ利用者の空き情報を発信したことで、 新規利用者の確保や追加利用を受入れ柔軟な対応を積み重ね、利用者増に努めた。一方で、 下半期に入ると利用者の状態変化に伴う利用移行が相次ぎ、施設内クラスターによる営業 休止もあり、利用者減となった。
 - イ 第三者評価委員による現場見学を通して、利用者の様子や職員の接遇等の評価を受けた ことで、業務や利用者対応の見直しに取り組むことができた。

3 職員の状況

		正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長		(1)			(1)	
生剂	舌相談員	1	(1)		1(1)	1.3
介記	 養従事者	(0)	3(3)	1	4(3)	5. 1
	うち介護福祉	(0)	1(3)	0	1(3)	2. 1

	士			
看記	進職員			

4 利用者の状況

(1) 実利用者数

	要 夛	え 援	⇒1 .]	要介護			⇒1 .	∆∌L
	1	2	盐	1	2	3	4	5	計	合計
4月	0	1	1	4	10	5	2	1	22	23
5月	0	1	1	4	8	4	3	1	20	21
6月	0	1	1	5	9	4	3	1	22	23
7月	0	1	1	5	11	5	4	1	26	27
8月	0	1	1	5	10	5	5	1	26	27
9月	0	1	1	5	11	5	5	1	27	28
10月	0	1	1	5	10	5	5	2	27	28
11月	0	1	1	5	10	2	3	2	22	23
12月	0	1	1	4	10	4	1	1	22	23
1月	0	1	1	4	10	4	1	1	22	23
2月	0	1	1	3	10	5	2	1	21	22
3月	0	2	2	3	11	4	1	1	20	22
計	0	13	13	52	120	52	37	16	277	290
前年度	0	2	2	65	113	77	12	16	283	285

(2) 延利用者数

要支援要介護										
	安 ブ	支 援	計			要介護			計	合計
	1	2	ц	1	2	3	4	5	μι	I FI
4月	0	9	9	36	83	45	19	8	191	200
5月	0	9	9	43	76	44	27	7	197	206
6月	0	8	8	48	79	41	31	4	203	211
7月	0	9	9	49	89	42	37	6	223	232
8月	0	7	7	49	83	37	43	8	220	227
9月	0	8	8	94	94	39	43	17	237	245
10月	0	9	9	54	90	39	36	13	232	241
11月	0	2	2	8	13	4	4	2	31	33
12月	0	5	5	31	59	23	9	11	133	138
1月	0	8	8	45	80	41	25	13	204	212
2月	0	8	8	32	82	41	23	6	184	192
3月	0	8	8	30	91	42	17	5	185	193
計	0	90	90	479	919	438	314	90	2,240	2,330
前年度	0	17	17	618	762	1,134	137	38	2,689	2,706

(3) 1日平均利用者数

	要 才	え援	⇒ I.		<u> </u>	要 介 譲	长		⇒ 1.	∧ ∌1.	稼働
	1	2	計	1	2	3	4	5	計	合計	日数
4月	0.00	0.35	0.35	1.38	3.19	1.73	0.73	0.31	7.35	7.69	26
5月	0.00	0.35	0.35	1.65	2.92	1.69	1.04	0.27	7.58	7.92	26
6月	0.00	0.31	0.31	1.85	3.04	1.58	1.19	0.15	7.81	8.12	26
7月	0.00	0.33	0.33	1.81	3.30	1.56	1.37	0.22	8.26	8.59	27
8月	0.00	0.27	0.27	1.88	3.19	1.42	1.65	0.31	8.46	8.73	26
9月	0.00	0.31	0.31	2.08	3.62	1.50	1.65	0.27	9.12	9.42	26
10月	0.00	0.35	0.35	2.08	3.46	1.50	1.38	0.50	8.92	9.27	26
11月	0.00	0.08	0.08	0.31	0.50	0.15	0.15	0.08	1.19	1.17	26
12月	0.00	0.19	0.19	1.15	2.19	0.85	0.33	0.41	4.93	5.11	27
1月	0.00	0.32	0.32	1.80	3.20	1.64	1.00	0.52	8.16	8.48	25
2月	0.00	0.33	0.33	1.33	3.42	1.71	0.96	0.25	7.67	8.00	24
3月	0.00	0.30	0.30	1.11	3.37	1.56	0.63	0.19	6.85	7.15	27
計	0.00	0.29	0.29	1.54	2.95	1.40	1.01	0.29	7.18	7.47	312
前年度	0.00	0.00	0.00	1.98	2.44	3.63	0.44	0.12	8.61	8.61	312

5 会議の状況

職員会議

開催日	議 題					
	アクティビティについて ・前月実	芸績に基づいた状況確認 ・前年度総括つい				
4/5	て					
1/ 0	・コスト削減と業務改善について	・前年度事業実績について				
	・業務分掌について	・通所介護計画について				
5/10	・前月実績に基づいた状況確認	・前年度事業実績の報告				
5/10	・アクティビティについて					
6/6	・前月実績に基づいた状況確認	・利用者受け入れ準備について				
0/0	・アクティビティについて	・事例研究発表について				
7/7	・前月実績に基づいた状況確認	・新型コロナウイルス感染対応について				
1/1	・事例研究発表について ・家族懇談	会の反省について ・人事要望について				
8/9	・前月実績に基づいた状況確認	・業務改善について				
0/9	・事例研究発表について					
9/5	・前月実績に基づいた状況確認	・新型コロナウイルス感染対応について				
9/ 0	・ヒヤリハット及び事故報告の確認に	こついて				
	・前月実績に基づいた状況確認	・事業計画の進捗状況について				
10/6	・アクティビティについて	・マニュアルの見直しついて				
	・事例研究発表について					
11/8	・特養業務支援により中止					
12/9	・前月実績に基づいた状況確認	・コロナ特養支援の振り返りについて				
12/9	・事業再開について	・重点目標の上半期総括について				

	・前月実績に基づいた状況確認	・利用者小正月行事について			
1/10	・入浴マニュアルの見直しについて	・ヒヤリハット及び事故報告について			
	・高額物品購入について				
2/7	・前月実績に基づいた状況確認	・特養人員不足に対する支援について			
2/1	・今年度事業総括について	・ヒヤリハット及び事故報告について			
	・前月実績に基づいた状況確認	・次年度重点目標について			
3/9	・今年度総括について	・アクティビティについて			
	・特養人員不足に対する支援と人事異動について				
	・ヒヤリハット及び事故報告について				

6 行事の状況

名 称	実施時期	実施内容
華道教室	なし	地域ボランティアの講師を依頼し、利用者と楽しむ
ドライブ	4/28、30、	園芸活動用の苗及び必要物品の購入
	5/19	季節の移り変わりを感じていただく
	7/6、7	春のお花見や田植え、夏の深緑やあやめ公園
	10/1、18、24	秋の稲刈りや紅葉狩りなど
夏祭り	8/5	特養と合同開催、出店での買い物や盆踊りを楽しむ
収穫祭	11/2	収穫したさつま芋や落花生などをおやつで食す
クリスマス忘年会	なし	おやつクッキング、ゲーム大会など
新年小正月行事	1/16	みかんほっぴきなどを楽しむ

7 研修受入れ

名 称	人数	実施時期	実 施 内 容	
岩手県立大学 社会福祉士実習	2名	2月7日	事業の概要説明、提供現場の見学	叁

8 運営推進会議

開催日	参加者	内 容
6 /94	军党批准禾昌 4点	・デイサービスセンターぶなの園の活動内容について
6/24	運営推進委員 4名	・新型コロナウイルス感染対応について ・意見交換
		・デイサービスセンターぶなの園の活動内容について
12/20 運営推進委	運営推進委員 4名	・新型コロナウイルス感染対応について
		・意見交換

〇在宅福祉課共通

1 在宅リーダー会議

開催日	議題
4/4	・令和2年度総括及び各事業所実績について ・業務分掌について
	・コスト削減と業務改善について・有給休暇取得希望時期の確認について
	・第三者評価委員会議開催について ・報酬改定に伴う重要事項説明書への同意
5/6	・令和2年度各事業所事業報告について ・コスト削減と業務改善について

	・業務分掌について ・新型コロナウイルス感染対応について
6/2	・コスト削減と業務改善について ・家族懇談会開催について
	・新型コロナウイルス感染対応について ・事例研究発表について
	・自立支援ケアマネジメント研修会について ・デイぶな運営推進会議について
7/4	・理学療法士採用に伴う各事業所の対応について
	・事例研究発表について ・新型コロナウイルス感染対応について
	・家族懇談会の反省について ・デイぶな運営推進会議について
8/2	・新型コロナウイルス感染対応について ・第1四半期実績について
	・第三者評価委員会について・事例研究発表について
9/2	・新型コロナウイルス感染対応について ・事業計画の振り返りについて
	・第三者評価委員会議の実施について ・在宅福祉課報告会について
10/4	・事業計画の上半期振り返りについて ・新型コロナウイルス感染対応について
	・第三者評価委員現場見学と会議日程について
	・家族懇談会開催について ・オンラインセミナーについて
11/2	・新型コロナウイルス感染対応について ・事業計画の進捗状況について
	・在宅第三者評価委員会提供現場見学について
	・在宅福祉課家族懇談会について ・課内研修会について
12/2	・新型コロナウイルス感染対応について・次年度物品購入と各種予算要望について
	・在宅福祉課家族懇談会の反省について・次年度人事要望について
	・課内研修について・デイぶな運営推進会議開催について
	・西和賀町介護保険事業集団指導について
1/5	・次年度予算要望と購入希望物品について
	・次年度人事要望について・第三者評価委員会議について
	・次年度収入見込みについて・感染症対応について
	・次年度研修計画について・デイぶな運営推進会議について
2/6	・第三者評価委員会議開催について ・次年度収入見込みについて
	・感染症対応について ・次年度人事要望について ・次年度事業計画について
	・今年度事業総括について ・感染症対応について ・年間実績集計について
3/3	・次年度事業計画策定について・次年度法人各委員会委員の選任について
	・今年度事業総括について ・在宅福祉課第三者委員の選任について
	・新型コロナウイルス感染対応について
	・次年度年間予定について・次年度業務分掌について

2 第三者評価委員会

開催日	参加者	内 容
		・今年度活動計画について
6/29	第三者委員 4名	・各事業所事故事例及び苦情等の概要報告
		・法人苦情解決委員の選任について
7/13 ~ 15	第三者委員 4名	・現場見学(通所、訪問同行)及びサービス実態調査

10/25	第三者委員 3名	・利用者聞き取り(訪問)調査の結果報告・サービス提供現場見学の評価報告・各事業所事故事例及び苦情の概要報告・今後の活動予定について
$1/25 \sim$ 26	第三者委員 4名	・現場見学(通所)及びサービス実態調査
2/16	第三者委員 4名	・利用者聞き取り(訪問)調査の結果報告・サービス提供現場見学の評価報告・各事業所事故事例及び苦情の概要報告・コロナクラスター発生時の対応報告・来年度の活動内容について

3 在宅福祉課家族懇談会

開催日	参加者	内 容
	デイぶな利用者及び家族	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ
6/29	ヘルパー利用者家族	・新型コロナウイルス感染対応について
	計 9名	・意見交換
3/9	デイぶな利用者家族 ヘルパー利用者家族 計 8名	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ・意見交換

4 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事故種別					
	利用者宅での器物破損	受診を要する負傷等	その他			
ヘルパー						
デイぶな	入れ歯破損 2件	爪切り挟み込み1件	送迎漏れによる中止1件			
西介						

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

		ヒヤリはっと種別					
	利用者の 服薬間違 い	所持品 未確認	所持品 取り違え	転倒 (負傷無)	送迎名簿 記載漏れ	各種機器 動作未確 認	
ヘルパー							
デイぶな	2件		1件	3件		1件	
西 介							

(3) 苦情受付状況

なし

第5章 高齢者生活福祉センター

○デイサービスセンターかたくりの園(指定通所介護事業)定員30名 デイサービスセンターかたくりの園(指定介護予防通所介護事業)含む

1 事業方針

職員体制が整わない中で、新規利用者の受け入れに躊躇しながら運営を行っていたが、職員体制の悪化により、11月から土曜日の営業を休止せざるを得ない状態となってしまった。新型コロナの影響は今年度もあり、1月には利用者から陽性者がでるなど、休業をせざるを得ない状態となり、事業所としては、より実践に近い感染対策の重要性を痛感している。経営状況としても、慢性的な人員不足の中で、最大限の受入れを行ってきているが、年間延べ利用者数は6,241人と前年度を1,187人下回る結果となった。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う(人権尊重・質の高い介護)

アクティビティと歩行補助具に関しては作成したが、嗜好に関しては以前から使用している 嗜好表を見直ししたに留まっている。利用者対応や環境の可視化表を叩き台にして介護サービ ス会議で内容を確認するため事前に配布し意見徴収をしている。接遇に関する学習会は中止と し、感染対策の学習会を行う事としていたが、新型コロナの影響もあり実施することはできな かった。

(2) 快適な環境づくり (安全・安心)

感染状況に応じた対策は継続して行えている。感染対策マニュアルの確認として12月に感染対策の学習会時に行うこととしていたが、新型コロナの影響により延期したところに、かたくりの園でも陽性者がでるなどしたため実施できなかった。総合防災訓練は予定通り実施できたが、こちらも新型コロナの影響により消防署員の立ち合いは1回のみとなっている。各種法定点検等は予定どおり実施している。

(3) 互いに支え合い (チーム介護・モチベーション・人材確保)

今年度は大きな行事の司会は、正職員が行うとした、アクティビティでは、司会が誰ということより、目的等を明確にすることで職員の役割をハッキリさせた方がいいと感じた。ディ運営カレンダーの作成分担や、利用者への朝の挨拶に関しても予定通り行うことができているので今後も継続していきたい。

(4) 地域と共に(共生社会・地域貢献)

第三者評価委員により現場調査は全三回の内、二回は実施できた。総合評価では介護職員への励まし等が記載され評価いただいている。キャラバンメイト養成講習会への参加申し込みはしていたが職員体制が整わず参加できなかった。キャラバンメイトの活動として孫世代への認知症講座への依頼があり講師を務めている。地域交流とし敬老会に町内三保育所からお祝いのメッセージ動画をいただいている。雑巾の寄贈の取り組みとしては、町内教育保育施設に出向き子供達と交流を行うことができた。

(5) 明日をつくる(社会参加と健全経営)

情報提供や情報をいただいた際は申送りを活用し共有に努めたが、職員体制が整わず、現場に相談員が入っていることもありケアマネへの情報を提供する時間がとれなかった。10月

22日から土曜日の営業を休止したため稼働率80%には到底およばない。ほとんどの利用者が土曜日の利用日を別の曜日に移行していただいたので、大変ご迷惑をかけてしまった。これからも職員募集を継続し、土曜日営業の再開を目指したい。

3 職員の状況 ※ () 兼務

		正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長		(1)			(1)	(1.0)
生活相談員		(3)			(3)	1.4
介訂	進職員	1 (1)		6 (2)	7 (3)	8.0
	うち介護福祉 士	1 (1)		3	4 (1)	4.0
看護職員				(2)	(2)	1.5
機能	能訓練指導員			(2)	(2)	1.5

4 利用者の状況

	実利用者数	延人数	開所日数	食事	一般浴	特浴	1日当たり利用者数
4月	87 (30)	585 (175)	26	569 (175)	551 (171)	27(0)	22. 5 (6. 7)
5月	84 (29)	580 (172)	26	491 (172)	554 (172)	26(0)	22. 3 (6. 6)
6月	78 (29)	565 (173)	26	550 (173)	519 (178)	45 (0)	21.8(6.7)
7月	78 (26)	581 (150)	26	571 (150)	525 (149)	54(0)	22.4(5.8)
8月	78 (22)	543 (113)	26	531 (113)	498 (112)	44(0)	20.8(4.3)
9月	75 (22)	554 (135)	26	544 (135)	518 (134)	30(0)	21. 3 (5. 2)
10月	72 (19)	521 (108)	24	511 (108)	469 (108)	48 (0)	21.7(4.5)
11月	73 (20)	512 (115)	22	495 (115)	461 (115)	45 (0)	23. 2 (5. 2)
12月	68 (19)	481 (113)	22	467 (113)	425 (113)	51(0)	21.8(5.1)
1月	59 (21)	395 (108)	20	380 (107)	351 (106)	39(0)	19.8(5.4)
2月	64 (22)	423 (107)	20	410 (107)	379 (106)	43(0)	20. 2 (4. 4)
3月	63 (20)	501 (114)	23	488 (114)	444 (111)	50(0)	21.8(5.0)
合計	879 (279)	6,241(1,583)	287	6, 007 (1, 582)	5, 694 (1, 570)	493 (0)	21.7(5.5)
前年度	1, 115 (379)	7,439(2,092)	312	7, 316 (2, 087)	7, 339 (2, 078)	381 (0)	23.8(6.7)

※()は総合事業のうち書き

5 会議の状況

(1) リーダー会議

開催	議	題
日		
4/5	・職員会議について	・業務改善について
5/6	・感染対策マニュアルの見直しについて	・業務改善について
5/6	・事例研究発表会について	
6/8	・重点目標の達成計画について	・業務改善について

	・事例研究発表会について	
6/13	・納涼大会について	
7/5	・重点目標の達成計画について	・防災総合訓練について
1/0	・事例研究発表会について	
8/5	・納涼大会について	・敬老会について
8/0	・事例研究発表会進捗状況について	
8/24	・敬老会について	
9/5	・敬老会について	・人員体制に伴う業務内容の見直しについ
9/0	て	
10/4	・事例研究発表会について	・居住開始に向けて
10/4	・営業日縮小による対応について	
11/4	・次年度重点目標について	・利用者忘年会について
11/4	・業務改善について	
12/5	・次年度重点目標について	・次年度購入物品について
12/5	・利用者忘年会について	・小正月行事について
1/9	・小正月行事について	・次年度購入物品について
1/9	・予算要望書について	・ご利用のしおりについ
2/2	・令和5年度重点目標について	・新型コロナ感染対策について
3/2	・令和5年度事業計画について	
3/20	・令和5年度事業運営について	

(2) 職員会議

開催	議	題
日		
4/8	・令和3年度事業総括について	・令和4年度推進目標について
4/0	・令和4年度事業計画について	
5/10	・環境整備活動について	
6/10	・環境整備活動について	・業務改善につい
7/8	・業務改善について	
8/11	・納涼大会について	・敬老会について
9/9	・敬老会の対応について	
10/14	・営業日縮小について	・環境整備委員会活について
11/10	・利用者忘年会について	・防災総合訓練について
11/10	・環境整備について	
12/9	・次年度購入物品予算要求について	・環境整備委員会活動について
1/11	・小正月行事について	・ご利用のしおりについて
2/10	・令和5年度重点目標について	・感染症の対応について
2/10	・年度末に向けての反省について	
3/10	・令和5年度活動計画について	・環境整備委員会について

(3) 介護サービス会議

開催	議	題
日		
4/21	・ドライブ週間について	・ケース検討・事故防止について
	・業務改善について	
5/18	・七夕飾りについて	・ケース検討・事故防止について
	・雪解けドライブについて	・休憩時間について
6/16	・あやめドライブについて	・ケース検討・事故防止について
	・事例研究について	
7/20	・夏を楽しむ会について	・ケース検討・事故防止について
	・事例研究について	
8/19	・敬老会について	・ケース検討・事故防止について
	・あやめドライブについて	・事例研究について
9/21	・紅葉ドライブについて	・ケース検討・事故防止について
10/19	・雑巾寄贈について	・ケース検討・事故防止について
	・おしぼり、うがいコップについて	
11/16	・紅葉ドライブについて	・ケース検討・事故防止について
	・業務の見える化について	
12/29	・小正月について	・ケース検討・事故防止について
	・業務改善について	
1/18	・節分・雪あかり	ゲーム週間について
	・ケース検討・事故防止について	・食数伝票について
2/15	・小正月、節分について	・ケース検討・事故防止について
	・業務改善について	
3/16	・雪解けドライブについて	・ケース検討・事故防止について
	・業務改善について	

6 訪問ボランティア・研修受入

(1) 訪問ボランティア

月日	地区	ボランティア名	内 容	人 数

(2) 研修受入

月日	研 修 者	内 容	人 数
2/9	県立大ソーシャルワーク実習		2 人

7 第三者評価委員会の実施状況

開催日	参加者	内 容
6/28	6名	報告事項 令和3年度利用実績について 令和3年度事故・ヒヤリハット・苦情・救急搬送について

		令和3年度事業報告について
		令和4年度事業計画について
		協議事項
		令和4年度第三者評価委員会活動計画について
7/8	1名	令和4年度法人苦情解決委員会
7/11	不参加	福祉サービスの苦情を考えるセミナー
7/20	中止	活動見学及びサービス実態調査
9/20	1名	活動計画及びサービス実態調査(午前調査)
11/22	2名	活動計画及びサービス実態調査(午前・午後調査)
		報告事項
		令和4年度第三者評価委員会活動報告について
0 /01	E 友	令和4年度活動見学及びサービス実態調査について
2/21	5名	令和4年度新型コロナ感染対応について
		協議事項
		令和5年度活動計画(案)について

8 行事の状況

1		
名 称	実施時期	実施内容
さなぶり弁当	6/15	
七夕行事食	7/7	
夏を楽しむ会	8/1~2	かき氷やヨーヨー釣りを職員と一緒に楽しむ
納涼大会	8/19~20	模擬店や盆踊り抽選会を行ない夏祭りを楽しむ
数 4 4	9/14~15	保育所のDVDやお祝い品で敬老を祝いご長寿ク
敬老会	9/14~15	イズで楽しむ
忘年会弁当	12/19~20	
書初め	1/2	利用者さんに今年の抱負などを書き初めに
小正月ほっぴき	1/13	小正月に合わせてほっぴきを行い昔を懐かしむ
節分豆まき	2/3	利用者年女の方に豆まきで健康祈願
恵方巻	2/3	
雪灯り	2/6~11	雪像や雪灯りの「かたくりロード」を楽しむ
散らし寿司	3/3	

9 家族懇談会

開催日	参加者	内容

10 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

事故の概要	事故件数
トイレでよろめき転倒しそうになる。 前腕に切傷	1 件

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

	7 TO SERVE A PROPERTY AND A PROPERTY								
	ヒヤリハット場所等								
	浴室	食堂	送迎車	静養場所	利用者宅	玄関先	脱衣所	送迎	その他
38件	7件	6件	6件	4件	3件	3件	3件	3件	3件
		ヒヤリハット種別等							
	針の紛失	一人歩き	ふらつき	連絡ミス	ロック忘れ	椅子以外に座る	園外へ出る	送迎忘れ	その他
38件	4件	3件	3件	3件	3件	2件	2件	2件	12 件

11 苦情受付状況

相談の分類	苦情件数	
	0件	

〇生活支援ハウス事業(受託事業)

1 事業の総括

令和4年度は、11月3日から最初の方が利用を開始し、12月1日に1名の方を最後に入居となり、入居希望された7名の方々にご利用いただいている。女性の方1名が新規利用者としてご利用になっている。徐々に生活に慣れていただくように努めている。

利用期間中は、新型コロナウイルス感染予防によるマスクの着用や他者との交流機会も少なく、また、面会者の密を避けるためにも予約制とし、来園時には体温や健康チェックなど感染予防に努めてきた。1名の方が体調不良により、2回救急搬送の対応をしている。近年は、配食サービスを利用される方が多く、自炊という面でも職員の見守りが不可欠となってきているが、転倒等の事故なく終えることができた。

2 重点目標の反省

- (1) 入居者の健康管理に対し、毎朝に宿直者が入居者の健康チェックを行うとともに、日中も職員による安否確認を実施することで、安心して日常生活ができるよう努めている。
- (2) 新型コロナウイルス感染予防として、入居者交流に向けて毎月1回実施してきていた入居者の会を中止している。そのため、生活援助員が毎月それぞれの居室に出向き居住者からの要望などに早急に対応できるよう支援できた。
- (3) 体調不良で救二回救急搬送をした方が一名いましたが、未明や日直体制時の対応となったが、ご家族やケアマネ等と連携をとり、速やかに対応している。
- (4) 施設活動に参加していただき、地域の方々との交流を目指していたが、新型コロナウイルス感染予防により活動を自粛しボランティアの受け入れを中止している。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	合計
生活援助員	1			1
事務当直員			3	3

4 入居者の状況

	実人数	延人数	1人当たり の利用日数	1ケ月の開 所した日数	1日あたり の利用人数	2人部屋の 利用状況	2人部屋の 利用人数
4月	4	66	16. 5	24	2.8		
11月	6	111	18. 5	30	3. 5	3	3
12月	7	217	31.0	31	7. 0	3	3
1月	7	217	31.0	31	7. 0	3	3
2月	7	196	28. 0	28	7. 0	3	3
3月	7	203	29. 0	31	6. 5	3	3
合計	38	1,010	26. 6	175	5.8	15	15
前年度	32	869	27. 2	163	5. 3	11	11

第6章 各委員会

1 各委員会総括

(1) 衛生委員会

【総 括】

① 健康経営宣言事業所として登録2年目に入り、2021年健診結果から事業所の健康度が示された。受検職員中メタボ該当者においては14.7%と前年比2ポイント改善されたが、予備軍は23.5%と9.6ポイント増加した。特定保健指導該当者は7.5ポイント増の35.3%となっている。特定保健指導の対象者は5名であり指導参加者は1名。

この状況は、職員の高齢化によるところもあるが他の事業所と比較し運動習慣のある職員が半分と低く、筋力強化や生活習慣病予防の取り組みが課題となっている。

② 産業医の指導のもと、職員定期健康診断の実施に加えがん検診の充実を図った。

大腸がん、胃がん検診追加

受検者数 5・6月 定期健康診断+腎機能検査 35人

生活習慣病健診(健保協会) 49人

12月 夜勤者定期健診 16人

調理職員の検便検査 毎月 10人

(12月・3月 ノロウイルス検査追加実施)

- ③ 委員会による施設の安全パトロールを定期に実施し、職場環境の保全に努めた。
- ④ 新型コロナ感染対応を含めた業務継続計画の策定にあたり、講師を招き「新型コロナ発生時の対応」について51名の参加によりリスク管理研修会を開催した。
- ⑤ 職員に対するストレスチェックの結果から、全国平均と比較してみれば、当法人職員の リスクが高い評価となった。ストレス解消の機会が少なく上司や同僚と話す(相談)機会も 少ない状況となっている。

(2) 広報委員会

【総 括】

- ① 年6回の発行を継続し、旬の話題を中心に紙面構成することができた。
- ② デイサービスぶなの園及びかたくりの園のコーナー等で、在宅サービスの情報発信にも 努めた。
- ③ 例年掲載している行事の多くが中止となり記事の候補が乏しい時季もあったが、リハビ リ機器導入、外国人技能実習生の様子など内容を工夫して構成した。
- ④ なかなか面会規制の解除ができない中、利用者の普段の表情や暮らしの様子をご家族及び地域の方々に紙面でお伝えできるよう意識して制作した。

【年間活動報告】

月	実施日	実 施 内 容	備考
		第1回広報委員会	委員5名
3.4 月 14 日 (水)		・令和3年度活動方針、計画について	施設長
		・第 104 号企画	

		・第 104 号制作	
	15 日 (土)	・第 104 号発行	
5月	10 0 (1)	第2回広報委員会	委員 4 名
	18日 (火)	・第 105 号企画	施設長
6月		・第 105 号制作	
	15日(木)	・第 105 号発行	
7月	27 日 (火)	第3回広報委員会	委員3名
	21 11 (90)	・第 106 号企画	施設長
8月		・第 106 号制作	
	15 日 (水)	・第 106 号発行	
9月	22 日(水)	第 4 回広報委員会	委員 4 名
		・第 107 号企画	施設長
10 月		・第 107 号制作	
11 月	15 日 (月)	・第 107 号発行	
11 月		・第 108 号企画	
12 月		・第 108 号制作	
	25 日 (火)	・第 108 号発行	
4.1 月	28 日(金)	第5回広報委員会	委員3名
		・第 109 号企画	
2 月		・第 109 号制作	
	15 日 (火)	・第 109 号発行	
3月		第6回広報委員会	
3月	17日(木)	・令和3年度総括について	
		・第 110 号企画	

(3) 防火管理委員会

【ぶなの園総括】

1 防災関係事業の重点

〈計画〉

① 消防署から指導内容を踏まえて、法人のマニュアル等と照らし合わせながら、より安全な避難誘導を目指しながら訓練を実施する。

【評価】

夏季における総合訓練では、日中に地震による火災と土砂災害を想定した訓練、秋季には、 夜間における火災が発生した場合を想定し訓練を実施した。いずれも住民・利用者の安全を 最優先に避難誘導を確認することが出来た。しかし、まだまだ実践に即した内容とまでは言 えないことから、次年度においては体験を交えた訓練を実施したい。

② 年1回の夜間を想定した訓練と、火災・地震・土砂災害を含めた訓練を実施していく。

【評価】

秋季の総合訓練では、夜間を想定し訓練を実施している。夜勤体制での火災発生を想定し、 宿直者や後から駆けつける職員の対応などを明確にしながら訓練を実施した。

③ 大雨等大規模災害に備え避難経路・避難場所の確保等具体的な訓練を地域の方々に参加

していただき実施する。

【評価】

残念ながら地域の方々の協力までは依頼出来なかったが、職員を地域の方々に設定し、現場での指揮の仕方について確認することが出来た。

2 年間事業報告

2 中间争未知百			
期日	種別	実 施 内 容	提出先 参加対象者等
4月16日(金)	作 成	ぶなの園緊急連絡網 令和4年1月24日再作成	作成者:総務課長
5月28日(金)	委員会	令和2年度実施状況総括の確認 令和3年度活動内容の確認 令和3年度消防署提出書類の確認	委員 4 名
6月14日(月)	検 査	西和賀消防署危険物立入検査 西和賀消防書建物立入検査	危険物取扱責任者立会 防火管理者立会
6月17日(木)	通報訓練	メール配信サービスによる災害発生 を想定した緊急連絡訓練	ぶなの園職員 58名
6月25日(金)	提出	防災訓練計画書、防災組織図 区分別火元責任者	防火管理者が消防署に 提出
6月25日(金)	委員会	建物立入検査について 総合訓練について ぶなの園消防設備学習会について	委員6名
7月14日(水)	総合訓練	地震による土砂災害と火災を想定し た総合訓練	総勢 98 名 消防署立会あり
7月14日(水)	学習会	消防設備学習会	職員 11 名
9月24日(金)	委員会	夜間を想定した総合訓練について	委員4名
10月14日 (木)	総合訓練	夜間を想定した総合訓練 町から避難所設営備品の借用	総勢 91 名 消防署立会あり
11月19日(金)	点 検	避難経路の確認 自主点検	防火管理者
12月10日(金)	講習会	心肺蘇生法及びAEDの講習	職員 19名 西和賀消防書で実施
1月21日(金)	点 検	緊急時の器具等 自主点検	防火管理者
2月18日(金)	委員会	今年度活動実施状況の確認 来年度方針と計画	

【かたくりの園総括】

今年度は防火管理者の変更が伴った事もあり、年度当初から消防関係書類整備を中心に行

った。その中で「かたくりの園消防計画」を作成し、訓練の内容も見直す事とし、年2回の総合訓練を行うこととした。7月の総合訓練には消防署の立ち合いを依頼し、「最終確認は部屋、トイレ等を限なく声がけして確認すること。余裕があれば避難した利用者の健康状態が悪くなった場合も併せて報告すること。本当に避難が必要な場合には、隣接する沢内バーデンとの協力体制を事前にとって置くこと」などの確認指導等がありました。11月の総合訓練は消防署の立ち合いを依頼せずに行った。居住のお部屋で非常ベルがどのくらい高く聞こえるのかも確認も行うことができた。また、毎日の日常点検と定期に行う定期点検も実施し計画に沿った対応を概ね行うことができた。

【防災訓練等実施状況】

期日	種 別	実 施 内 容	提出先・参加対象者等
4月23日(金)	提 出	消防防災計画、防災組織図 火元責任者、防火管理者選任届	消防署
5月28日(金)	委員会	消防署提出書類の確認 次回訓練	所長
6月25日(金)	委員会	次回訓練	所長
7月1日(水)	提 出	消防計画作成届出書	消防署
7月8日(木)	提出	訓練実施計画書	消防署
7月20日(火)	訓練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	利用者 27 名 職員 11 名
7月21日(水)	提出	訓練実施結果報告書	消防署
7月30日(金)	点 検	法定点検	互光商事
8月24日(火)	点検	定期点検	所長
10月28日 (木)	点 検	定期点検	所長
11月1日(月)	提出	訓練実施計画書	消防署
11月24日	訓練	 通報訓練、避難訓練、消火訓練	利用者 27 名
(水)	训 冰	世 前 旅 、	職員 10 名
	提 出	訓練実施結果報告書	消防署
1月7日(金)	点 検	法定点検	互光商事
2月18日(金)	委員会	令和3年度総括	所長

[※]日常点検を毎日実施